

弓削通信

第111号

発行者：平山和昭
〒794-2509
愛媛県越智郡上島町
弓削土生318-2
TEL・FAX 0897-77-3072

年頭雑感

●ベストセラーの秘訣

昨年は「国家の品格」という新書がベストセラーになった。本の内容については一読していただくしかないが、ごく乱暴に要約すれば、「国家の構成員である日本人は、武士道精神を取り戻し、それぞれが品格ある人間と成ることで、もって国家の品格をあげるべき。昨今の乱れた日本を立て直すには、米国流の論理一辺倒、効率一辺倒、拝金主義ではなく、英国のように伝統を重んじた情緒を復活させねばならぬ」ということでもなさうか？

ともあれ主張が多くの人々の共感を得たのだとすれば、現代日本では民にも国にも品格というものが喪われていると、これまた多くの人が感じているということになる。

●単眼よりも複眼で

しかし、ベストセラーになったのはまた別の理由、つまりこの本が、先の五年間にわたり小泉前総理大臣が国民を煙に巻いてきた手法、「単純化したわかりやすい理屈」であったからのような気がする。

多くの場合、事物を単純化すれば確かにわかりやすい。わかりやすいが大切な側面を削ぎ、あるいは見えなくしてしまうことにもなりかねない。理屈というものは常に

どこへ向かうのかな「上島町」

新年
おめでとう
ぎぎ亥ます

ニッポン・正月

本年もごきげんよう
お願いいたします。

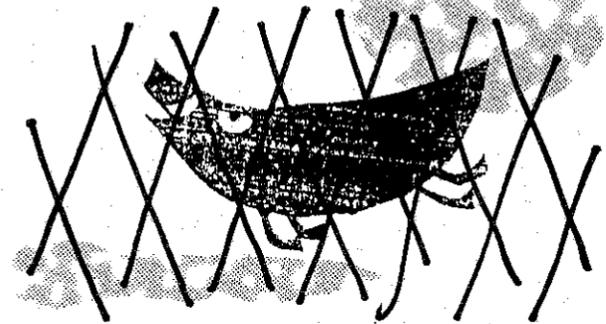
正・反あつてひとつのもの。だからというか、この本がよく売れたこと自体に「こわい現象やなあ…」と思わせるものがあるのではある。

●危うい「国家の品格」

昨年はまた「教育基本法」が改正された。本来それは憲法から派生しているものゆえ、順序から言えば憲法改正後の作業になるはずのものだろう。ところが現政府の本心はただただ憲法9条を撤廃するための憲法改正にあるためその作業は抵抗が多く遅々として進まない。そこで社会問題化している青少年の現状に目を向けその因を「公教育」に単純化し、教育基本法に問題ありとして、改正に及んだ。

改正前の教育基本法がよくなるところはどこにもない。人民の

幸福は戦争を手段としては得られないことを敗戦を契機として自覚させられ、恒久平和を理想として定めた日本国憲法と、その理想を実現するには教育の力をまつしかないとして定めた改正前



ただいま弓削島に増殖中！！

のでもあるが、一言言えることは人間の心の内までも法によつて規制しようという「改正・教育基本法」が、石原都政での「国旗国歌法の悪用で見られたような運用をされない保証はない。

●蹴飛ばされる論理

さらに昨年末三十日には、イラク元大統領フセインが死刑執行された。判決四日後の素早さだった。敵対勢力の虐殺を命令したというのがその罪状である。

アメリカがイラク戦争を開始した理由はイラクが大量破壊兵器を開発、あるいは隠し持っている、それが世界の安全を脅かす、というのであった。大統領フセインはそれを否定したが、アメリカとイギリスは聞かず、無理矢理開戦し、現在の泥沼にはまった。国連の査察でも大量破壊兵器の開発や所持の証拠は見つからず、のちにはイギリスもアメリカも情報的意図的誤用を認めた。

戦争の本当の理由は多くの人によつて語られ、多くの人々の共通認識としてあるにもかかわらず、こつとして理屈に合わないことがまかり通る。なんと奇妙に日本の現状に似ることか！

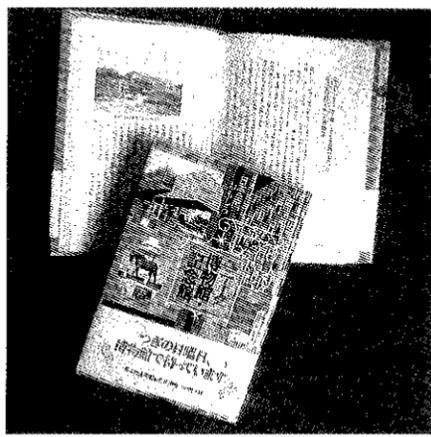
●論理こそ人智の証

年頭にあたりて未来を眺める時、まず振り返るは近々の過去。それを引きずるしか未来、歩んでは行けない。やはり私たちは情緒ではなく、誰にもわかる論理で過去と現在をつなぎ、コトの解決を図るしかないのだと思つた。さうすると、昨年「弓削通信」で取り上げた様々な話題を総括すれば、われらの町は果たしてどこへ向かっているのだろうか？

●用語の落とし穴

一般的に「改正」とは「正しいものに改めること」だが、現実には改悪であることも多い。教育法に限らず税制法、福祉関連法、あるいはこれからは労働関連法にと、先人のよき遺産が次々改悪されてゆく。

もちろん何をもちつて正とするかで論は四方八方に拡散していくも



次の日曜日、博物館を待つひまわり。
日本全国「三ノク博物館」記念館
おもしろ
新人物往来社編
●四六判／縦／A5程度
●定価2,500円（税別）

会場／おのみち街かど文化館
(尾道市土堂町1-8-5 尾道商店街通り)
NPO法人シネマ尾道 TEL/090-8061-8589

第2回 おのみち 週末映画館

2007年2月

3日(日) 4日(月) 10日(日) 11日(月)

1作品/500円

黒い十人の女

集金旅行

幕末太陽傳

眠狂四郎 無頼剣

第1週	2月3日(土)	4日(日)
①10時~	眠狂四郎 無頼剣	黒い十人の女
②13時~	黒い十人の女	眠狂四郎 無頼剣
③16時~	眠狂四郎 無頼剣	黒い十人の女
④19時~	黒い十人の女	眠狂四郎 無頼剣
第2週	10日(土)	11日(日)
①10時~	集金旅行	幕末太陽傳
②13時~	幕末太陽傳	集金旅行
③16時~	集金旅行	幕末太陽傳
④19時~	幕末太陽傳	集金旅行

79分/角川
監督/三隅研次 脚本/伊藤大輔
出演/市川雷蔵 天知茂 藤村志保
最高傑作との呼び声高い人気時代劇
暗い宿命を背負いながら虚無と孤独の影を
ひいて生きる剣士、眠狂四郎の前に同じ円
月殺法を駆使する強敵が現れる。燃え盛る
江戸の町を背景に悪漢の上での対決シー
ンは圧巻。

お知らせ

「上島おもしろ交流クラブ」ご案内
毎月第3水曜日、午後7時~9時(せとうち
交流館研修室)で開催しています。他人の感性
への共感を築くゆとりこそ新しい発想の源と
信じ、誰でも、興味あることを、自由な立場で、
をメンバーに語り合います。飛び入り歓迎。
☎ 0897-77-2760 座長(竹林清志)

1月は
17日(水)
です。

ETODA DEL CANTO HALL
21世紀を席捲する最も刺激的な室内アンサンブル
Pacifica Quartet
パシフィカ・カルテット



ベル・カントホール
2007/2/18(日) 開演/19:00
入場券 全自由席 一般/3,000円 18歳以下/2,000円
●お問い合わせ
ベル・カントホール TEL.0845-27-3848
尾道市瀬戸田市民会館 TEL.0845-27-1878



しらぬ間に変わる世間

平成十八年六月、「地方自治法」の大きな改正がありました。第二十八次地方制度調査会の答申をうけ改正されたもので、地方の自主性の拡大及び議会制度の見直しも盛り込まれています。こうした情報はインターネットを通じて各府庁のホームページで公開されていますが、昨今、我々をとりまく情報環境は否応無く「しらぬ間に」はさまぬことになりつつあります。テレビ、新聞等の報道も、耳目をそばで居る事件以外は一過性のため、生活に密着するような重大事でも、気がつけばとくに新たな法の元で動いている事態は知らぬ間にしばしば体験することとなります。

ちよつと横道へ

さて、上島町平成十八年十二月定例議会は十八、十九日の日程で行われ、十六議案と六件の請願、ならびに議会常任委員会委員選挙があり、結局、十八日中に全て終了しました。諸議案については町の広報等で報告周知されますが、今回のレポートでは議員の苦悩?みたいなことを書いてみたいと思います。国法の改正に伴う市町の条例改正は、事務的に処理していくべきものではあります。中には法の改正(住民の側からは改悪に見える)により、あらたな住民負担が増えるような場合でも、議会がそれを否決すれば結果的に法に反することとなり、議会、いや、ひとりの議員として非常な苦渋を味わうことがあります。具体的には今定例議会での「愛媛県後期高齢者医療広域連合規約」という議案もそれに当ります。議案を可決せざるを得ないものの、

地方議会と議員

国の方針に方向転換を求める住民の声を国に向かって発するのにも仕事では!

この規約は、国の福祉政策後退の一翼を、不利益を被るであろう当事者、つまり高齢者予備軍である我々が担ってしまおうという矛盾を味わうこととなります。なぜかといえます。

医療制度改革大綱

平成十七年、政府の発表した「医療制度改革大綱」は、医療給付費抑制という名目ですが、国民の負担増のオンパレードです。平成十八年十月から七十歳以上の高齢者は、
①現役並み所得者は窓口負担を三割に、
②長期入院患者の食費、居住費を自己負担化。
③高額療養者の自己負担額も引き上げ。そして、平成十九年四月から標準報酬月額の見直しという事で保険料の引き上げ。さらに、

④平成二十年から「新しい医療制度の創設」として、七十五歳以上の「後期高齢者」だけを対象とした健康保険制度をつくる。その保険料は年金から天引き。六十五〜七十四歳までの「前



【写真説明】平成十九年 上島町成人式は1月3日、岩城地区にて挙行された。岩城港付近での記念撮影風景。

期高齢者」もいずれ新制度を作り、保険料を年金から天引き。この新たな保険制度の財源は公費五割、残りを、現役世代四割(若年層も含む)、高齢者一割で負担するべく保険料を徴収。世代間負担の公平を維持するためとして、後期高齢者、現役世代の比率に応じて負担割合を変える。(つまり高齢者が増えれば若年層の負担が減る)といったものです。どう言い繕うと「改革」と言ふ名の負担増です。先に書いた「後期高齢者医療広域連合規約」は、こうした制度

を実行するための前線部隊設立規約といつこととなります。

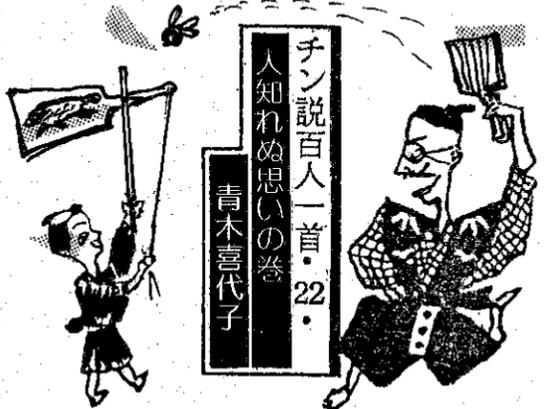
住民の為に働かぬ

現在の地方末端議会の実力では、国の立法をあらかじめ阻止することなど不可能です。しかし「地方議会の議員は身近な住民の声(民意)を議会に反映させるべきだ」という「地方制度調査会」の答申は、「改正自治法」に「地域自治区の創設」として規定されました。住民自治とは、当然憲法に保証された全ての権利の行使を含みます。「住民のためには働かない」という議員が居る筈が無く、当選する筈も無い。しかし、事実は小説よりも奇なりで、先の上島町定例議会では「議会は町民のためには働かない」という態度表明がありました。どういふことかといふは、

請願書不採択

十二月議会では共産党議員が紹介議員になって提出した六件の請願書の採択を、賛成少数ですべて不採択となりました。請願書のタイトルは以下の通り。
①介護保険の負担軽減と「貸しはがし」等をなくすよう求める請願
②医療負担軽減など、安心して療養を求むる請願
③障害者と家族が安心できる医療福祉制度を求める請願
④出産子育てに関する請願
⑤最低生活保障に関する請願
⑥最低保証年金制度の創設を求める請願。

請願者は①〜⑤までは愛媛県社会福祉推進協議会、⑥は全日本年金者組合愛媛県本部。これだけのかな?町議会内容を詳述するまでもなく、医療制度改革の不備や、社会で起っている不祥事をなくするよう、町議会は国に向かって方向転換を求め働いて欲しいと言っている。もちろん国政の場での野党共産党の主張を取り入れていくとは目されますが内容は、国民一般が等しく不安を感じている民意が反映されていることは明らかでしょう。採択に反対したある議員にいわせれば、「財政的裏付けの無い請願を採択することは無責任」、なのだそう。読者は地方議会と議員についてどうお考えでしょうか。新年早々、明るくないレポートとなりましたが、皆さん、今年一年、お元気に活躍ください。



チン説百人一首・22
人知れぬ思いの巻
青木喜代子

恋すてふわが名はまだき立ちにけり人しれずこそ思ひぞめしか

ねえ、あなた、判断に迷った時どうします?

パートナーに相談?。あるいは友人に?。それともひとりやるべきか止めるべきかと悩みつつ眠れぬ夜を過ごす?

相撲好きの脚本家が、「やらずに後悔するよりはと、やっちゃって後悔することもある。だけど、やらなくて後悔せずに済んだ、というところもある」と言っていた。なるほど、時期を待つのも選択というところか。そうはいっても、愛恋の世界では待つばかりもおられんだろう。「明日、いやまた今度」と、迷っている間に愛しいお方は人のもの。そうなるって髪かきむしっても間に合わない。

愛しい人の姿を見てドキドキ、声を聞いてワクワク、ニッコリ笑顔をもたらした日にはもう心臓バクバクだった。ああ叶うならあの頃に戻りたい……。見れば、おせちを食べ過ぎ、こたつでトドのごとく横たわっている彼女。スマートだった昔のおもかげも無い。

でもサ、トドだつて同じこと思っていますよ。きつと。人しれずこそ思いそめしあのころはよかつたなあ、と。困難を乗り越え、めでたく結ばれたあのときのことを。「勇気を出してプロポーズしてよかった。あの時あきらめていたら、きつと一生後悔している。僕は世界で一番の幸せ者だ」と、ひとりで浮かれていたあなたの姿を。

さあさ、いまさらトドでもハゲでもいいじゃありませんか。新しい年、初心に戻って仲良くまいりましょうよ。「ねえ、どっちが似合ってる?」「これ着てもよく似合うよ」箱根駅伝の中継に釘付けの夫は、振り向きもせず言った。



弓削通信

第112号

発行者：平山和昭
〒794-2509
愛媛県越智郡上島町
弓削土生318-2
TEL・FAX 0897-77-3072

二月二日、上島町少年式(魚島)に参加させて頂いた。町内四地区を毎年順番に訪問することにして、本年は魚島中学校となった。魚島中・小学校の生徒・児童数は現在、中学一名、小学四名。その内訳を「魚島中学校ホームページ」には

- 魚島中学校 二年男子一名
 - 魚島小学校 六年男子一名
 - 四年女子一名 四・六年複式
 - 高井神小学校 三年男子一名
 - 一年女子一名(一・三年複式)
- と自校紹介している。

○いきなり一人前にはなれぬ

ところで一人前に扱われるというところは一人前の責任も負うということ。そのあたりも含め、自覚・立志・健康をテーマに県下で少年式が行われる意味は小さくはない。しかし、である。一人前に扱うとはどういふことだろう。

大人にも欲しい 自覚と立志

さらないうが、子らの誰しもが純真無垢に生まれながら、いつにか、どこかで、その全き純真さが、心ないオトナの、或はその影響下になる子どもたちによって、歪められ、貶められているのだとしたら、やはり通過儀礼とはいえず、一遍の行事に終らせてはなるまいと思ふのだ。

昭和三十九年(1964)、日本児童文芸家協会が提唱したこの「十四歳立春式」は、子どもの育成に責任を果たすべきオトナへの「提唱」と言う名の警告であったろうし、会員が文芸活動を通じて背負った子どもにも教えられた結果でもあったはず。だが運動は



十四歳 少年式

魚島中学校を訪ねて



○なぜかだか心地いい式典

式には小学生全員と教職員、そして魚島地区の公職にある方をはじめ各分野の代表の方々が参加。少人数ならではのアットホームな、しかし「立志の日」にふさわしく毅然とした雰囲気を感じた。式典は、しみじみと心洗われた感じがした。子どもに対するオトナの気持ちも集中していたからかもしれない。

「少年式」は愛媛県独自の行事だとよくいわれるが「立志式」「立春日」など、名を違え同様の行事が全国各地で実施されている。

遠い時代では、男子は「元服」、女子は「髪上げ」とか「初笄(ういこぎい)など、少年・少女が一人前として扱われるための通過儀礼があり、「少年式」も同じである。

魚島中学校では昭和40年2月4日に「第1回少年式」が挙行されました。当日は晴天で、全校生徒81名が参加し、盛大に式典が行なわれたそうです。(式典資料より)

実は十四歳を機に、少年・少女

たちにオトナが求めるいろいろな徳目を見せつけ、では我らオトナにそれに見合っただけの用意があるのかどうかを、常々オトナの引き起こす浅ましい大小の事件の度に感じるものである。だから、どうか、いつかはこの式典を地域内の特定の人々のみが参加する「学校内行事」に止め置かず、広く地域住民の参加をよびかけ、こそして子らの成長を言祝ぐ地域精神の発露の場として新展開されてもいいのではないかと、とも思ったりする。

○自覚と立志はオトナにも

オトナに「自覚」無ければ自らを顧みることなく、「志」無ければ社会はよくなるが、「健康」なくしては幸福追求すら危うくなる。生意気に求道精神を説くつもりはさら

が破れる準備であることを納税者もいつか自覚すべきだ。

国は教育にゼニを惜しむな。それが根本。

○村史に見る自覚と立志

合併上島町の一員となるにあたり平成十六年九月発刊された「合冊・魚島村史」という書物がある。ひも解けばいづれの時代にも僻村のリーダーたちが、自覚と志をもち、政治として果たすべき役割を、もがきつつ試みてきたかが読みとれる。

その後、取り組む学校の増えるにつれ画一化し、多くは儒教的徳目訓告の場となってしまうというようにも感じる。

○教育は元来非効率なもの

魚島地区の現状に即してのみ言え、子弟の育成に、誰がどう責任を果たすべきかを、目に見える形で示してくれている。生徒数一名という学校のありようがそれである。

よく費用対効果とか言う。教育現場もいろいろな方面から能力アップを求められる。しかし教育にコスト主義を持ち込んで確実に喜ばしい結果を得るのは、財政出動を減額できる国庫のみである。そのことが将来的には国

て体現していた事例だ。

いま合併の名のもとに、各地区を何くれなく均一化しようとの動きもあるが、こうした志のある流れを、決して効率主義に埋没させてはなるまいと思ふ。

★魚島村史はせとつち交流館にあります。



◆魚島では本年に入り乗り合い自動車の直前を大きな猪が横断するのを8人が目撃したと言う。昨年は約五キロ離れた高井神島でも複数回目撃されたそう。瀬戸内海のほぼ中央に位置する高井神島・魚島は、四国・中国本土からは海上20キロ以上。弓削からでも十数キロはある。亥年にちなみ元気一杯の町になるように、彼(彼女?)らの旺盛なフロンティア精神、生命力にあやかりたいものだ。

・お便りから・

ここ私の住むところでは初年度早々赤字財政が見直され、事業も控えめ(或は取りやめ)のようです。何のための合併だったのか? この近くでは教育委員会配属になった職員が3人くらい亡くなりました。学校を相手に、上司とのあつれきもあったのでしょうか。このような負の成果は見直されないまま、とにかく進んでいます。

コンビニを後戻りさせられないように、合併も後戻りできないのでは、コンビニが潰れるように合併も潰れるしかないのでしょうか。原点に立ち戻ることを組織体はできないのでしょうか。

最近の教育界も原点に戻ることなく、目の前の現象に右往左往している感じがします。何事も原点に立ち返る余裕がほしいですね。

(古川市・本田義幾 道鏡を守る会)

上島おもしろ交流クラブ

ご案内：毎月第3水曜日、せとうち交流館研修室にて。午後7時～9時
話題提供、意見交換、ミニ講演会、要望あればIT器機体験・講習などにも対応。

★2月は21日です。

◎いよいよ始まる議会改革

上島町議会における本年最大のテーマの一つに議員の身分に関する議会意思の決定があります。つまり次回からの町議会議員選挙にむけ、選挙区、定数、報酬等について議会の総意を決定し、最終的には議会条例を改正する作業です。

去る一月二十六日、第一回目の議員定数等についての議員全員協議会が開催されました。当日は初回ということで、議員各自がこの問題についてどう考えているかの意見陳述がなされました。今後随時協議会が開催され、議会の総意が構築されることとなります。

◎合併協のつげまわし

「上島合併協議会」ではこの件については次のように決めました。(第四回上島合併協議会。平成十五年五月十九日)

- ▼議員の身分については合併特例を適用しない。
- ▼選挙区を設ける
- ▼議員定数は十八名。
- ▼設置選挙については、弓削選挙区七人、生名選挙区四人、岩城選挙区五人、魚島選挙区二人とする。

このような合意がなされましたが、このことの後々の存廃に関しては新町の議会で検討可能であるということで、問題点は新町議会に先送りされました。

選挙区に関しては「公職選挙法」十五條 六項に、「市町村は特に必要がある時はその議会議員の選挙につき条例で選挙区を設けることが出来る」とし、同八項には、「選挙区の議員数は人口に比例して条例で定める」と規定されています。

何をもち「特に必要がある時」とするかは法に明文化されてはいるわけではありません。そこで同条の解説には一つの解釈として「市町村の議会議員については原則として選挙区を設けないが、町村合併により地域が広大等のため特に必要があるときは条例で選挙区を設けることが出来る」とされています。

要は選挙区や議員定数を決定できる議会の裁量権が行使されてはじめて、そのことが「合理的」と是認されるかどうかということになります。では誰がその判断をするのか。おそらく議論の行き着く

先は「司法判断」ということになるのでしよう。とは言え「司法」はややこしい問題については「常に明確に判断しない」です。ねえ、いろいろと

◎三つの問題と宿題

上島町議会に於ける問題の一つは、町設置選挙(上島町初回選挙)に際し「市町村の廃置分合又は境界変更があった場合、選挙区議員数が人口に比例しなくてもいい」という「公選法施行令第九条」の規定を適用したので、議員定数が人口に比例していない選挙区が発生しました。そのため、先にのべた選挙法の規定にもとづき、設置選挙以後の選挙については新たに議員定数の設定をし直さなくてはならないと考えられます。

脱皮する上島町議会



なぜこのようにしたかといえ、(議事録を精読する限り)合併協議会の論議の中で特に人口が少なく、かつ孤島性の高い魚島地区が不利にならないように特別な計らいをしたからです。そのこと是非は置きますが、選挙法の規定のうち「ただし書き」解釈に「定説」が無いことから、その研究を後回しとし、とりあえず議員数の人口比例配分規定を回避できる「公選法施行令九条」の規定を、緊急避難的に活用したものと思われ

- 弓削選挙区 8・1 (7)
- 生名選挙区 4・4 (4)
- 岩城選挙区 4・8 (5)
- 魚島選挙区 0・6 (2)
- () 内数字は現行定数

選挙区を設ける事自体は法的には可能なので、もし今後選挙区を設け、現行のように「人口に比例させる原則を適用しない」ようにしたいなら、先の公職選挙法第十五条の6項と8項の規定が引き続き問題なく適用できるかどうか

合併2年経過。議会改革、待ったなし!

か、そして、若し選挙区を設けたら、すでに初回選挙で見たように、人口一万人以下の一つの行政区の中に、選挙のある地域と無い地域が出来ること。この不公平をどうするのか。逆に全町1選挙区にすれば、議員の居ない地区が生まれる可能性をどうするか、など。二つ目の問題は、議会議員は地域代表のままでもいいのかという事。十年後の総人口七千人台と予測される町で、民意の反映のために本当に十八人の議員が必要なのかということ。そして、合併上島町になって議会議員が旧町村の地域代表意識を持ち続けるならば、いつまでたっても全町的な視野での活動や判断は望めないのではなからうか、ということ

◎試される議員の品格

議員定数や待遇はこのままでいいのか。あるいは議会は行政の一翼をになう機関でありながら、年々歳々その存在意義に有権者から冷ややかなまなざしを浴びせられている現状にどう向かい合うのか。議会がどう自らを変革し、町民から信頼されるチェック機関として、また来たるべき分権時代に、行政庁の頼りがいのあるパートナーとして活動できるかは、この度の議員の身分に関する決着の付け方に現れるでしょう。

【参考】関係法令抜粋

6 市町村は、特に必要があるときは、その議会の議員の選挙につき、条例で選挙区を設けることができる。

8 各選挙区において選挙すべき地方公共団体の議会の議員の数は、人口に比例して条例で定めなければならない。ただし、特別の事情があるときは、おおむね人口を基準とし、地域間の均衡を考慮して定めることができる。

▼公職選挙法施行令 第九条

市町村の廃置分合又は境界変更があつた場合においては、関係区域を区域とする選挙区又は関係区域を編入した選挙区において選挙すべき当該市町村の議会の議員の定数は、人口に比例しないことができる。



中田ちぐさ



子どもたちが学校から持ち帰る給食袋。中には白衣と帽子が入っている。とにかく月に1回は持ち帰る。この給食袋、うちの子によると、

「自分が着てえ、持って帰ってえ、洗ってえ、次は他の人に渡すんよってことらしい。時々、前の人や休んでるけん、自分が次週に着るものを持って帰る。以前学校のPTAではない所で給食袋の話で盛り上がったことがあった(人の使ったものを持ち帰って洗うということについては)

「自分の子が着るぶんをウチで洗ってアイロンかけてやりたい」と言う人がいたり、(わが子が使ったものを持ち帰って洗うということについては)

「自分の子が使ったから、自分ちで洗って、次の子に渡す、のがスシやと思う」という人がいたり。さて、あなたならどうしたい? 私? 私は...そんなもん、どつちでもええ、だ。強いて言えは、うくん、自分の子が使うとなるとアイロンに手抜きをしようだなあ...まあ、自分が使ったものは自分で洗って、つのがスジのような気もするな。

「前の人がきちんと洗濯してなかつたりしたら?」なんて声もあつた。うん、ボタンが取れたままだったり、そういうのは困るよなあ。 「2人分持って帰って」と面倒倒つてもあつたが、言わせてもらえばこんなところにも「モラルのレベル」つのが存在するんだよな。 「いっそ、学校でクリーンングに出して」なんて声もあつたが、経費は親持ち、となれば「これもまた問題がでてるぞう。」 「教育の一環として、自分たちで洗わせる」なんて今更にあんな深く考えたことなかつたけど、みんな様々なこと言いまくつた。自分もいろいろ言いまくつたけど、やけど、ええやん。このままでも、他に重大な、もつと話し合つべきことは山とあるぜえ。」

弓削通信

第113号
発行者：平山和昭
〒794-2509
愛媛県越智郡上高町
弓削土生318-2
TEL・FAX 0897-77-3072

地域の危機に立ち上がれ！

『フラガール』という映画が話題になっている。昨年九月封切りされ「日本アカデミー賞」優秀作品監督、主演女優、助演女優、新人俳優賞など総なめしたので、承知の読者も多いだろう。その映画がこの三月三十一日、尾道市しなみ交流館「テアトルシエルネ」で上映される。運営主体は「NPO法人シネマ尾道」(尾道に映画館をつくる会)。
縁あって年会費千円也の賛助会員となっているので「弓削通信」紙上で些少の応援をさせていた

フラガール

監督：李相日 / 音楽：ジェイク・シマブクロ
出演：松雪奈子、豊川悦司、蒼井優、山崎静代、岸部一徳、富司純子
第11回尾道に映画館をつくる会上映会
2007年3月31日(土)
テアトルシエルネ (JR尾道駅前・しなみ交流館)
①10:30~12:35 ②13:00~15:05 ③15:30~17:35
(開場は上映開始の15分前 / 入替制 / 全席自由)



未来をあきらめない。

「尾道に映画館をつくる会」のメンバーは、「尾道は映画の町だ」と人々は言い、行政もいう。なのに映画館がない、映画館が無くなつた事すら知らぬ人も多い。なんだかおかしくないか? という首ひねりから一歩をふみだしたと、どこかで読んだ。
*乾いて候
尾道のかつて栄えた駅前商店街は、年々さびれ、昔日のにぎわいは無い。市内のみならず、近隣市町の人々の、生活スタイルの変化と因果関係にあるのだろう。
一方では、大規模スーパーやデパートには人々が集中する。しかしそうした場所でのあくなき消費への強要は結局、いつまでも欲求不満が解消されず、逆にそこに住んでいる人々が商いをしてきた、ぬくもりの感じられる街が懐かしく思えるのも、また事実だ。
果たして映画館が再興されるかどうかは、結果を待つしかないが、自分たちの住む街を、自力で活を入れようという夢つぼい活動には、とても心動かされる。
*「無関心」に関心をもちよう
実は上高町にも、自分で考え行動を始めたNPO団体や、サークルは、色々ある。たとえば、弓削地区に限ってみても、「ふくふくの会」は個々の求めに応じようとするきめ細かな高齢者介護を、「ゆげ夢ランド」はEM菌をつかって環境改善を、「グリーンキャンドウ」は植林による白砂青松の維持を、「おいでんさいグループ」は「海の駅」の実践を。
ちよつと趣向は変わるが、還暦を機に、ボランティア集団として同窓会を再結成した「十一会」は公衆トイレの清掃や草刈りを、最近では「弓削商船高専を存続させる会」が設立され、百年の歴史ある学校を未永くこの地に存続させようと活動を始めた。
この度の話題にもつながる「ブルメリア・フラ」というフラダンスサークルもある。
こうして見ると、若草萌えるこの町の多様性が楽しみだ。



「常磐ハワイアンセンター」の誕生を支えた人々の奇跡の実話、感動の映画化です!
【主催】尾道に映画館をつくる会(NPO法人シネマ尾道)【問い合わせ】090-8061-8589(半田)

映画館建設と運営に向け活動する「シネマ尾道」



昭和四〇年代、我が国のエネルギー源が急速に石炭から石油に切り替わるなか、国内炭坑は軒並み衰退の一途をたどる。福島県常磐炭坑も例外ではなかった。そこで会社は、閉山対策と離職者再雇用のため当時の日本人が一番行ってみたかった海外の観光地「夢の島ハワイ」をイメージしたリゾート施設「常磐ハワイアンセンター」を、炭坑では厄介者であった地下湧水温泉を利用し誕生させた。

炭坑で栄えた町は炭坑の、造船で栄えた町は造船の、学校で栄えた町は学校の衰退でさびれていく。普通はそうである。しかし世には普通でない出来事がみせてくれるであろう。

「百年続いたこの炭坑は天皇陛下が視察にいらしたヤマダ」を心のよりどころとして自慢する住民の多くは、レジャー施設を作ることは大反対。がその事業に夢を託した会社や地元の娘たちの努力が実を結び、実に現在では「スハリゾートハワイアンズ」として年間一四〇万人をこえるレジャーランドとして、他のリゾート施設の苦戦をよそに善戦を繰り広げている。映画はその「常磐ハワイアンセンター」草創期にハワイアンフラダンサーとして身を挺した少

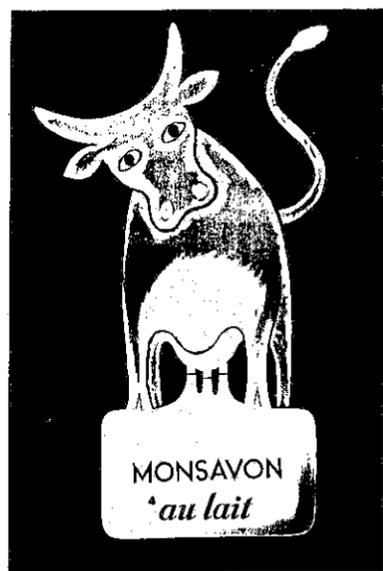
「百年続いたこの炭坑は天皇陛下が視察にいらしたヤマダ」を心のよりどころとして自慢する住民の多くは、レジャー施設を作ることは大反対。がその事業に夢を託した会社や地元の娘たちの努力が実を結び、実に現在では「スハリゾートハワイアンズ」として年間一四〇万人をこえるレジャーランドとして、他のリゾート施設の苦戦をよそに善戦を繰り広げている。映画はその「常磐ハワイアンセンター」草創期にハワイアンフラダンサーとして身を挺した少

「百年続いたこの炭坑は天皇陛下が視察にいらしたヤマダ」を心のよりどころとして自慢する住民の多くは、レジャー施設を作ることは大反対。がその事業に夢を託した会社や地元の娘たちの努力が実を結び、実に現在では「スハリゾートハワイアンズ」として年間一四〇万人をこえるレジャーランドとして、他のリゾート施設の苦戦をよそに善戦を繰り広げている。映画はその「常磐ハワイアンセンター」草創期にハワイアンフラダンサーとして身を挺した少

「百年続いたこの炭坑は天皇陛下が視察にいらしたヤマダ」を心のよりどころとして自慢する住民の多くは、レジャー施設を作ることは大反対。がその事業に夢を託した会社や地元の娘たちの努力が実を結び、実に現在では「スハリゾートハワイアンズ」として年間一四〇万人をこえるレジャーランドとして、他のリゾート施設の苦戦をよそに善戦を繰り広げている。映画はその「常磐ハワイアンセンター」草創期にハワイアンフラダンサーとして身を挺した少



【料金及びチケット販売】
当日券1,500円
前売券1,000円
弓削通信では前売券の申込みを受け付け中! お電話ください。77-3072



Raymond Savignac

(牛乳石鹸モンサボン)から生まれた アフィシスト

レイモン・サヴィニャック展

パリの空の下で...
ウィットとユーモア
たつぷりの
ポスター



2007年 3月17日(土)
5月20日(日)

開館時間: 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日: 月曜日[4月30日(月・祝)は開館、翌5月1日(火)は休館]
観覧料: 一般700円/高・大生500円/中学生以下無料

尾道市立美術館

或るサラリーマンの コレクション展

■会期 2007/3/20(火)~3/28(水)
10:30-18:30 (会期中無休)
■会場 おだ画廊(尾道駅前海岸通り)

決して豪華ではない。決して高価でもない。ただその純粋さ、素朴さ、このコレクターの美意識の高さに、私どもは羨望さえ覚えるのです。限られた収入の中にも持ち続けた絵画芸術への一つの姿勢と情熱。それを見てみたいのです。ご鑑賞ください。

[出品作家]

島海青児・松田正平・前田寛治・佐分利 真・伊谷賢蔵・原 精一
中西利雄・森 芳雄・野見山 晴治・浜田知明・駒井西郎
山田正亮・村井正誠・池田清寿夫・宮崎 進・山川輝夫
中村一郎・小林和作・織田広喜・石原靖夫・久野 真 他

おだ画廊

尾道市東御所町6-14
TEL0848-23-6006



〈桑田選手にエールを送りながら〉

桑田といえば、甲子園での活躍より、うまいことをして希望球団に入団した(本人の知恵ではなかったかもしれないが)人というのが私の印象である。だから巨人軍の桑田には関心がなかった。

その桑田が、米大リーグに挑戦し、マイナー契約を結び、所を変えて現役を続行することにした。素人の私が見ても桑田の球には威力がなくなっていて、投げれば投げるほど打たれる。それでもコーナーをつく投球ができれば、ある程度試合に出られるかもしれない。それでも責任投球回数を投げられるかどうかは未知のような気がする。このことは本人が一番知っているはずである。それでもなおかつ挑戦するのはなんなのだろうか。

それは、入団の際のやり方に負い目を感じ、投手として燃え尽きることで代償となると考えたからではなかろうか。彼はブログに誠実に生きていきたいと書き込んでいるという。つまり引退して指導者の道を進むことより、何回か登板できるほうを、登板しても打ちのめされるほうを選んだ。

私は定年退職したが、集団就職した中学時代の同級生の姿が頭にあり、体を使う仕事を第二の人生にと剪定の見習いをした。実践はこれからで、日曜大工的にもやったことがない分野で自信はない。

しかし、桑田選手のことを思えば条件は比べものにならないほどよい。彼の姿勢に共感しつつ、私も剪定の仕事に励みたい。 本田義幾(道鏡を守る会)

議会と地域がもっと身近に!

は合併に伴う新町初の選挙のためこうなった。次回(4年経過)からは選挙区なしの上島町1選挙区となり、4島を奔走する選挙となる。」と聞いていたので、合併した新町の新議員は旧自治体の枠を越えた政策と行動力で地域の活性化に取組み、次の4島を駆け巡る選挙戦に備え、足を鍛えている事と思つて、つとめて上島町議会を傍聴していただく次第です。

「地方でできることは地方で」と国から尻をたたかれるまでもなく、地域が主体的に動き、個性ある町づくりをまい進すべきで、合併新町の新議員にはその責任と役割が求められている。合併を機に、古い地縁血縁を中心とした旧町村の地域代表意識を捨て、大いに政策論争を高めて欲しい。

上島町人口も合併時は8,431人だったが、19年1月31日現在は8,056人となつ

ており、375人の減。8千人を切るのもそう遠くない。こうした人口推移と上島町財政危機の現状を加味すると、選挙区、議員定数、報酬等について早急に全議員が真剣且つオープンに協議会を開催して取り組んで頂きたい。

私の中都地区では、昨年8月に中都・浜都地区行事として「下弓削出身議員を囲む懇談会」を企画し、地区住民から大変好評を得ました。今、第二回目の議員との懇談会を是非!との要望があり、今月開催(2)の予定で下弓削出身4議員にご案内し、準備を進めているところで、私は、「まちはみんなで作るもの」の考えであり、常に地域住民と議員がよい関係に保つよう、地域住民が議会議員と親しく懇談できる場づくりに務めています。

上島町議会議員の皆様は頑張ってください。(弓削・中都) 浜村 隆

ノイズ

●話題の『実質公債比率』

上島町の実質公債比率(毎年度の支出全体に占める借金の割合)は16.4%で県内12番目。夕張市のそれは28.6%。(総務省資料決算カード)この数字が18%を越えれば起債(借金)が許可制になり、25%を越えれば一般事業でも起債制限が、35%をオーバーすれば公共、教育、福祉事業にも起債制限がかかります。下水道など公営企業債の返済に充てた繰り出し金なども債務として算定するため従来使われていた指標「起債制限比率」よりも平均4%ほど高く算出されると言えます。昨年四月から導入されたこの指標は、税収の乏しい自治体に事業を委ねるにせよ、巧妙に仕組まれた国による地方への財政出動回避策のように感じます。

相撲中継で「この力士はかいなが長いですから注意しなげりやいけませんよ」なんて解説が入るとすぐこの歌がうかび、腕をさしたいたい男は、こんな立派な体格だったんだらうか、ちんちくりんの男だったら御簾の下から手を入れても届かんだらうね、と。



春の夜の夢ばかりなる手枕にかひなく立たむ名こそ惜しけれ
春の夜の夢のようなはかないたわむれ。あなたの腕枕を借りたらつまらない浮名がたつてしまわね。いやね。
「たたむ名」とはありもしない恋の噂のこと。
私はこの歌が好きで勝手にすらすらと情景が浮かぶ。春の月あかりの下、庭の梅だか桜だかがさきほこり、はなびらがひらひらと舞う。幻想的ですわね。何処かの邸に女たちが集まり、時を忘れておしゃべりの花も咲かせている。夜も更けて、女優大原麗子似の女がハスキーボイスで「少し疲れちゃったア」と、すかさず藤竜也似のいい男が、「よかつたら僕の腕枕で」なんてね。大人の男女のやりとりで悲しい歌ではなさそうな気がする。

チン説百人一首・23
悩ましきは花粉の巻
青木喜代子

春の夜は花の香りとも違うなんか草の芽吹く青いにおいがする。むくつと冬眠からさめて動き始めるようなにおい。タイムングよく猫も悩ましく鳴いている。そんな夜が続くとつてもいいことがありそうな気がして、ぼかぼか陽気にうらわれて朝から布団を干し、張り切ってシーツまで洗濯してしまおう。そして、おまじかかねの夜、布団に入ったとたんくしゃみ十連発!目はしょぼしょぼ。枕元には鼻をかんだティッシュの山。色気もなんもあつたもんじゃなわ。

弓削通信

第114号

発行者：平山和昭
〒794-2509
愛媛県越智郡上島町
弓削土生318-2
TEL・FAX 0897-77-3072

上島町元アツプ計画

この4月1日、「上島町総計画概要版 2006~2015」が町内読者のお手元に届いているはず。中に盛り込まれた「住んでよし、来てよし、元氣島」とあるように、これから上島町の元氣アツプ計画をいろいろ策定し、実行し、2015年までに、さて結果や如何にですか？
なにをどう計画し、実行するにしても、関わる人々が「町を元氣アツプする」という思いに共感し、それを共有できるかどうか成否の力ギとなるでしょう。

町民の全てが町の未来への危機感を共有し、「まず」が動いてなんぼのものと思わなければいけません。

世代間ギャップ

テレビドラマ「北の國から」の作者である倉本聰(72)さん主宰の北海道「富良野塾」が、3年後に閉塾するそうです。富良野塾は84年の創設ですから、4半世紀を、彼は手弁当で、俳優や脚本家を目指す若者を指導してきました。

塾の受講料は無料ですが、塾生は2年の養成期間中、夏場は近所の農場、工場等で年間の生活費を稼ぎ共同生活をしながらなりません。現在の宿舎も練習場も、みな初期の塾生たちが自らの手で作り上げました。
卒塾生全員が一流の俳優や脚本家になれるわけでもなく、初期の塾の基盤整備に青春を捧げた人も多かった

親が子を子が親育てるおもしろが毒

「ママの『谷は眠っていた』。詳しい数字は忘れてしまいましたが、公演費用三百万円余をチケット完売でまかなおうと、仕掛人一同懸命に頑張る、甲斐あつて一千人が収容できる因島市民会館が、ほぼ満席になりました。

この成功を機に実行委員会スタッフの何名かは富良野塾と親密になり、95年に『シングル』、98年『今日、悲別で』、03年には『屋根』を因島で公演し、多くの人々に感動を与えました。そしてこの活動は、いずれは因島の名物行事となる筈でした。

失敗や苦勞も宝物

一口に舞台公演の実行と言ってもボランティアの協力

にはしなかったであろうこれらの言葉から、4半世紀にわたり見つめてきた若者氣質の変遷と、その根っこにある「社会の教育力」「家庭の教育力」の低下に対する深い失望感を感じます。それは指導する者とされる者との「思いの共有」が失われたことを意味するのでしょうか。

あれからもう・・・
隣島の尾道市因島がまた因島市であった93年、富良野塾の因島公演実現にむけ、県外者ながらささやかなお手伝いをしました。作品は富良野塾誕生のいきさつがテ

がなければ成功はむづかしく、組織運営力、事務処理力も必須です。いちいち壁に突き当たりながらも乗り越えていった個々の委員のエネルギー源は、「コト」を思いついた人の「因島を一流に」という「夢」に対する共感と、その「思い」の共有だった気がします。とりわけ女性の牽引力には目を見張るものがあり、「弓削通信」のコラム「チン説百人一首」の筆者さんも牽引者のおひとりでした。

おさなり合併劇

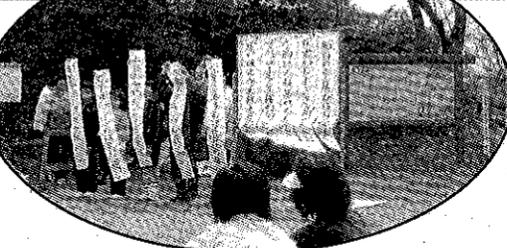
残念なことに旧因島市と瀬戸田町は、合併して自らの足で立つ道を選ばず、昨年、双方とも吸収の態で尾道市に合併しました。かつての生きのいい連中のネットワークも、心身ともに離散し、いま因島の覇気はめっきり影がうすくなったように感じます。

官と民の思いが交わることはなかった、まれにみる不細工な合併劇でした。

君、品性下劣にして

思いが交わらないと言えは4月は弓削で「島四国」劇が開幕します。なんと近頃は道路に面した札所では車を横付け、下車もせず、窓から手を出しお接待を求めめる方もいらつしやるのだそうです。「お接待の心」も、参加者に理念が共有されないなら、いつの日にか「無料の駄菓子だけがお目当ての人々」でござるがえす事態にあきれ、失望し、「もうお接待なんか止めようや」ということにはいはいはいではないのでしょうか？

投句読む 夏井いつきさん



●4月1日、万愚節に岩城「桜まつり」が開かれた。講師の俳人 夏井いつきさんと満開の花の下での吟行会。投句の選をする夏井さん。

しまなみ海道

大島 吉海町

よしうみ バラ公園

■休園日 年中無休
■入園料 無料
●満開時期/5月中旬~6月上旬
10月中旬~11月上旬

バラ祭り・よしうみ
5月19日(土)・20日(日)

■バラ公園お問い合わせ先
吉海町産業観光課
TEL 0897-84-2111

吉海郷土文化センター 吉海町福田1290

島四国200年祭展

島四国200年を記念して、島四国の歴史を振り返るお堂や仏像などの写真を展示します。

仁根・百花繚乱

野間仁根の花にまつわる絵画の展示。

とき 4月1日(日)~9月25日(火)
午前9時~午後5時

入場料 高校生以上200円 小・中学生100円

※月曜日休館

問合せ ☎ 0897-84-2566

上島おもしろ交流クラブ

ご案内：毎月第3水曜日・午後7時~9時

●ミニ講演や時の話題で交流。
問い合わせ：77-2760 (竹林清志)
77-3072 (平山)

4月18日(水)は

場所：新消防庁舎2階です



因島に創立されて12年、因島自由大学は自主独立を目指し、自由と高い理想を目指します。

第12回 因島自由大学

脚本家 早坂暁先生

1929年8月11日愛媛県松山市生まれ。小説家、脚本家。松山中学校を経て、旧制松山高等学校卒業後、日本大学芸術学部演劇科卒。雑誌記者、編集長を経て「ガラスの部屋」(61年日本テレビ)で脚本家デビュー。以後、数々の映画やドラマの脚本を手かけ、小説やドキュメンタリーも執筆。人間をテーマにした独自の作風を築く。代表作は「夢千代日記」「空海」「花へんろ」「天下御免」など。新田次郎文学賞、講談社エッセイ賞、放送文化基金賞、芸術選奨文部大臣賞、紫綬褒章、芸術祭優秀賞、放送文化賞ほか多数の受賞歴がある。



代表作
「夢千代日記」
「花へんろ」など

お話

僕の原点、瀬戸内海 (仮)

2007年5月26日(土) 午後2時~4時00分

芸予文化情報センター

尾道市因島土生町88-1 TEL 0845-22-8660

2,000円

問い合わせ: 因島22-5792、FAX 22-6716(永宗)
弓削通信平山(弓削77-3072) FAX 共通

去る三月二四日開催された弓削地区、中都・浜都集会所での「第2回・議員と集う懇談会」に出席させていだいた。出席議員は下弓削区在住者ということで、田窪忍、竹林秀夫、岡島政則、平山和昭、各議員4名。聴衆として前田省二議員もおられた。あいにくの雨天で参加者は三〇名と前回三八名を下回ったものの、このことに強い関心をもっておられる一定数の人々の存在がうかがえた。



有権者の皆さんと議員、膝を交えての懇談会

議員と有権者が膝を交えて懇談する機会を持つのは、議会への関心、行政への関心を高め、有権者、議員にとっては、日頃の思いを伝え合える、双方向性に意味があると認識している。財政的にも厳しい環境にさらされている自分たちの町が、どうなっていくのか、どうすればいいのか。人生経験豊かな人々が知恵を出し合い意見を発言することに価値を見いだしたいと思う。このことは行政が開催する地区懇談会とはまた違った活用方法がある。

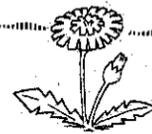
議員は有権者から行政の政策を承認(あるいは否認)する権限を委嘱されている存在です。したがって普通なら、議員個々の利害や感情で動くのではなく、常に社会常識に照らして公明な判断を求められます。議会は行政庁のチェック機関と称されるのでとても重い責任です。一方で、俗に「是非々々」で判断していくと発言する議員は世に多いのですが、その「是」と「非」は、やもすると自身の利害と密接していかを、有権者はチェックする義務があります。そのチェックの結果が選挙に反映されてはじめて「有権者」である意味もある筈です。議会議員という身分は法的に規定されたもので、その限りにおいては国、県、市町村議員は同等ではありませんが、それぞれ実質的な力は、いざと異なりませぬ。

身近な市町村議会議員、ことに町村議会議員は専業でやれるほどの報酬もなく、そのせいかわかりませんが、それが名譽職的になっているケースも多いようです。行政構造改革、財政改革が待ったなしの現状に、行政人件費の削減など強く求められる中、議会も例外ではなく、率先して経費削減に取り組まねばならないのは当然のことです。議員定数の問題、報酬の問題等、このたびの懇談会で有権者のそうした生の声が聞けたことに喜びを見いだせないなら、まず町民を代表している自覚がないということになります。さて筆者も含めた4議員の自覚のほどは? (3月定例議会、当初予算、補正予算等については町広報誌に掲載されますのでここでは割愛します)

ひと任せでは済まないわが町のゆくえ。「町づくりに町民参加を」というかけ声を 現実のものにする試みがどんどん町内全域に広まればいいなと念じます。

彼岸を終え、日を追って暖かくなってまいりました。さて、先日はご多忙のところ中都浜都地区懇談会にご出席を頂きまして誠にありがとうございました。主催者として何分にも不慣れた進行でご不満の点多々あったかと思いますが、何とぞご容赦いただきまして、今後とも中都浜都地区に対してご指導ご鞭撻を賜りますようお願い致します。平成の大合併で誕生した「上島町」の新しい町づくりは、町民みんなで作っていく義務があり、そのためには、私たちの代表である町議会議員と親しく懇談する場を設けて、町政・地域の情報交換(意見交換)をすることが求められております。今、町の逼迫財政を語るべき、町民の声は、次期町議会議員選挙は「全町1区・議員定数削減・議員報酬減額」が一致した声となっており、議長を選出している下弓削出身四議員は、結束して「町財政改革・町議選制度改革」に真摯に取り組んで頂き、議会制民主主義の核となつて活躍されます事祈念して、お礼とさせていただきます。三月二十七日

中都浜都地区長



わじりパン (12)

中田ちづき

小学校の登校時の班分けは地域の子供会の中で分けられる。二、三人から七、八人と様々。班長も六年生とは限らず、班内に同学年がいるとも、全学年が揃っているとも限らない。うちの町でも四つの班に編成して二箇所が集まって集団登校していたが、集合同所にさせてもらっていた駐車場のが今年卒業するので、集合場所を他にして欲しいと言われ、全ての班が一旦公園に集まってから登校することにした。

公園だったって、自分たちの丁目の中にある公園なのに「公園に行くってのは学校と逆方向に行くことになる」と文句をたれる親が出てきた。



井戸のカエル

そりゃあ丁目の学校寄りの一番端に公園があるわけじゃないからそんなケースもあるやろう。けど、ほやからなんやっていうわけ? 「公園にみんなが集まるのなら男子班、女子班というふうにならぬにしたらいいのではないか。そしたら、うちの子が班長にならんで済む」という親も出現!

でもね、一班に一五、六人もいるとね、なかなかタイヘンだし、学校からも十人以上内でお達しがきてるのヨ道路横断する時に、長い班だと迷惑かけるでしょ。それに、いったん渡り始めたら逆に班単位で行動しなくっちゃと、無理に一緒に行動して、危ないやん。

それじゃなくても、学年がバラバラなのに班の列がむやみに長くなると、六年生といえど、副班長がいるといえど、子どもだけに責任をもたせられないやんか。毎朝、一班づつに親が付き添いでもする? そのときはおたく、出てきてくれる?

弓削通信

第115号

発行者：平山和昭
〒794-2509
愛媛県越智郡上島町
弓削土生318-2
TEL・FAX 0897-77-3072

ちいさな政府／おおきな政府

まるで逃げ水
合併し上島町になつてはや
三年が過ぎた。

平成の大合併は、その推進
目標として「ちいさな政府」を
目指す、とあった。「ちいさな
政府」の眼目は、地方分権を
すすめる(当然、権限委譲と財
源移譲も)日本国政府をスリ
ム化し、国、都道府県市町
村の役割分担を明確に、より
効率的なサービスを国民に
提供する、言い換えれば国と
いう親掛かりからの脱却が目
的だった筈である。

憲法論議と 自分たちの町や村

のケツをたたいてどんだん改
革を進める競争は得意では
ない。今は、何が何でも改憲
だと、あらぬ方向で焦つてい
る。政権与党議員は、首相が
自分の任期中に改憲を実現
したいというのをたしなめる
どころか拙速を尊び、尻馬
にのつている。

論議盛んと言えれば聞こえ
はいいが、実態は政権与党が
数で押し切る手法。向こう三
年間に関係する法律の辻褄
合わせをし改憲するつもりだ。

法衣の下の太刀

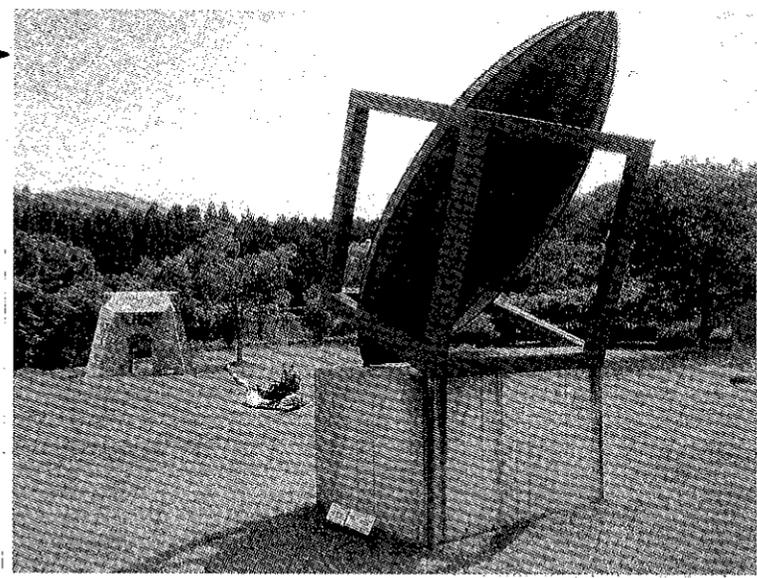
憲法は国の屋台骨、国民
の生活のよりどころである。
我々はこうありたいとの理想
の発露でもある。条規の一言
半句、全て私たちの生活に繫
がっている。

はやり歌の「千の風」ならぬ
「千」という数が妥当であるか
どうかはひとまず置いて、
それぞれの自治体レベルでの
行・財政責任を果たすために
は分権とセツトの権限委譲、
財源移譲が同時進行しなけ
れば意味がない。その作業は
遅々として進まず、まるで逃
げ水のように先へ先へと延ば
される。ちいさな政府は依然
大きな権力を手放さない。

主権在民

国会議員は選挙が最優先
なので、政争は得意だが役人

国民投票法の投票資格年
齢の二〇歳から一八歳に引
き下げ、これとて諸外国での
例を引いて理由の一つにして
いるが、昨今の我が国の一八



大分県大野郡「朝倉文夫記念公園」にて。
第6回・大分アジア彫刻展優秀賞作品

歳が本当に参政権を得たい
と願っているのか？
小中高の授業で教師が選
挙の話をしたらすく教育者の
地位利用の運動だ！と突っ
込む。子供の頃から政治・経
済に関心を持たせてもいない
のに、年齢が来た、さあ正し
い判断を、と言ったって用をな
すわけがなからう。

国語力が試される

自民党の改正憲法草案を
読むと、のつけからがっかり
する。まず前文のたるさ。現行
法の高らかに理想を掲げた
国内外に向けた気品ある文
章にくらべ、改正案は「愛情」
「責任感」「気概」など、曖昧
な用語で、国民に徳目を説い

ける活動を行うことが出来
る」とした。
言うまでもなく集团的自
衛権行使OKと解釈できる
仕掛けだ。
九条①をそのまま残すと
は、「国権の発動たる戦争と、
武力による威嚇又は行使は、
国際紛争を解決する手段と
しては永久にこれを放棄す
ることだから、以後も「まか
しが必要となる」。

改憲は論議を尽くせ

要は解釈なのである。曖昧
にすれば抜け穴を掘る。
かつて吉田茂首相は、国の
交戦権否認と戦力不保持を
定めた九条②の縛りを逃れ
るため、「自衛隊は軍隊では
ありません」と、字面つまり
詭弁で自衛隊発展へ道をつけ
た。「軍備」ではなく「装備」を
充実させ、今ではもう後戻り
できないほどの、戦力ではな
い武力を保持するに至った。
理想があるから頑張れる

理想があるから頑張れる

理想を現実レベルに引き
下ろすのか、それとも現実を
理想に近づけようと努めるの
かで社会の風潮は大いに変わ
る。我が国政府が「まかしは
かりやうて来たので人心は荒
れてしまった。それが今の世
相である。

私たちはいま、有権者とい
う力を活用し、一人一人が
個々の責任で意思表示してい
くしかないが、戦うべき相手
とは、決して他国ではなく、
戦争を国是として押しつけて
くる道を閉こうとする勢力で
ある。

世界に誇れる美しい「日本
国憲法の前文」を、世界の憫
笑をさそう自堕落な言葉に
入れ替えさせてはならない。
憲法遵守義務のある国会
議員、役人は、本当に憲法を
まもってきたか？

「まかし」の連鎖

国会で安定多数を保持し
た政府与党自民公明党は、
現憲法は進駐軍の押しつけ
ものだと改憲を狙う。ホント
の狙いは九条を改変し(でき
れば廃棄して)アメリカの戦
争政策に協力できるようにす
ること。この事実はどう誰で
も知っている。

自民党の草案では、戦争
放棄規定九条①はそのまま
残したが、九条二として「自
衛軍を持つ」と明記。目の上
のタンコブ九条②を全削除。
かわりに九条二の3、自衛軍
は「国際的に協調して行われ
る活動および緊急事態にお

【参考】
日本国憲法前文(抜粋)
日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらと我らの子孫のために、諸国民との共和による成果と、わが国全土にわたって自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。

憲法第九条
① 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

憲法第二十五条
① 全て国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
② 国は、全ての生活部面について、社会福祉、社会保障、及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

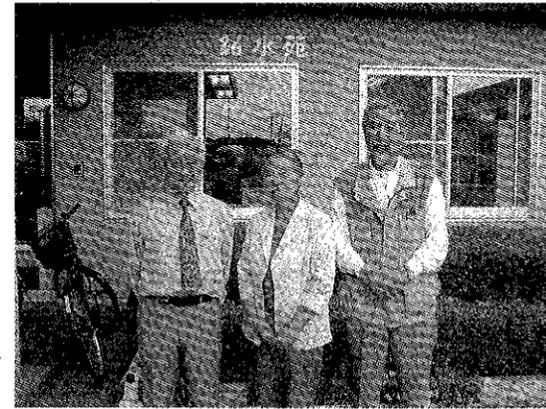
憲法第九十九条
天皇又は摂政および国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。

●5月5日「おやくっさん」の折、
募金箱を置かせてもらいました。
集まった11,728円のカンパは、
ユニセフへ送らせていただきました。
ご協力ありがとうございました。
(久司浦・前田)

「地域で頑張る」その1

旧魚島村僻地診療所長の菅井健二医師は、リタイア後の平成二年に魚島に着任したのを皮切りに、へき地(離島)医師ひとすじに活動してこられた。

四年後魚島を離任し、長崎県五島列島福江市の杵島



大分県大野市三重町「ニコニコ名水苑」(医師)菅井健二さん(向かって左端)

へ。続いて長崎市池島、宮崎県延岡市の島の浦島へと、求められるまま離島医を続け、三年前、大分県大野市三重町にある「豊かな福祉」「行き届いた医療」「楽しい生活をコンセプトに運営される大分県高齢者福祉生活協同組合「ニコニコ生活村・ニコニコ診療所」の医師となられた。現在は同グループの介護施設「ニコニコ名水苑」の施設長を勤められている。なかなか再会が果たせなかったが、この五月初旬、積年の願いがかなった。八十二歳の現役医師は、ドラマ「ドクター・コトウの診療所」の志が僻地医には必要とおっしゃる。また、求めれば

「地域で頑張る」その2

お金目当てでない医師は、きつとあらわれるとも。「医は仁術なり」は死語かと思っていたがそうでもないようだ。しかし、である。現実問題として求めるだけではダメで、へき地医を志す医師に、現地がどういうカタチで応えるか。地域住民や行政の志が問われるのではないだろうか。

今治市吉海町にバラ公園がある。シーズンには世界四千種、十萬本のバラが鑑賞できるとか。公園に隣接して吉海郷土文化センターがあり、野間仁根(のま・ひとね)記念室がある。野間仁根は明治三十四年、



越智郡津倉村(現・吉海町)生まれの洋画家である。戦前戦後の二科会を経て昭和三十年、鈴木信太郎と一陽会を結成した。郷土文化センターはじつはまりとはしているが、吉海町の歴史が凝縮された場所だ。五つの展示室に民具、甲冑類、書画などが手入れよく展示

されていて、二人の女性職員によつて切り盛りされている。仁根のすばらしい作品群は二階にある。郷土出身の偉大な画家をより広く知ってもらうため、郷土ならではの作品集めをし、郷土ならではの展示をしたいと、館員の渡辺裕子さん。仁根の生家は広大な塩田をもつ庄屋。バラ公園から徒歩約五分くらいの位置に、かつての面影をのこしつつ崩壊の瀬戸際にある。その旧家と広い敷地を活用し、グリーンツリーズムを取り入れた、吉海ならではの仁根記念館を、というのが渡辺さんの夢だ。

整備には相当の経費が予想され合併相手の今治市はいまのところ乗り気ではなさそう。そんな事態を指してか「合併した方がいいことはぜんぜんないわい。じり貧にしなければ」と、仁根の実家近くに住む人は吐き捨てるように言った。

地域のよさをどう守り持たせていくかは、吉海町や宮窪町、上島町など、すべて島嶼部の共通の悩みでありテーマだ。だが嘆くだけでは何も進まない。渡辺さんは市の臨時職員でありながら「仁根が好き、吉海が好き」という一念で、本庁にも腹をくくってかけあう。窮鼠猫を噛むともいうが、事なかれ主義の正職員も多くなか、彼女の情熱と気迫はきつと成果を呼び寄せるだろう。またそれに応えられないようでは、いずれ今治市も「じり貧」だ。

村山 密展

2007.6月30日[土]-9月17日[月・祝]
9月 尾道市立美術館

第12回 尾道に映画館をつくる会上映会

2007年6月24日(日) 「ゆれる」
会場 テアトロシェルネ
【料金】前売1,000円 当日1,500円
【上映時間】①10:30~12:35 ②13:30~15:35
音楽担当ナカムラ氏ライブ
西川美和監督トークショー

尾道に合う良い作品を尾道で観る
映画館建設と運営に向け活動する「シネマ尾道」
NPO法人シネマ尾道(尾道に映画館をつくる会)
〒722-0014尾道市新浜1-9-31 TEL 070-5522-4958
弓削通信では前売券の申込み受付中! ☎77-3072

お手軽簡単・ホームシアター

フラガール
日時: 6月20日 午後7時
場所: 上島町消防庁舎2階
参加費: 無料
問合せ: 77-2760 (竹林清志) 77-2569 (前田典子)

上島おもしろ交流クラブ
今月は「IT器機体験講座」としてパソコンと家庭用プロジェクトによるDVD映画試写会です。
昭和四十年代、閉山に追い込まれた炭坑町を、常夏の楽園ハワイに変えようとして立ち上がったフラガールたち。
米國、日本アカデミー賞受賞作品。

いも! ちん説百人一首・24
侘しさも一人の巻
青木喜代子
わびぬれば今はたおなじ難波なるみをつくしても逢はむとぞ思ふ

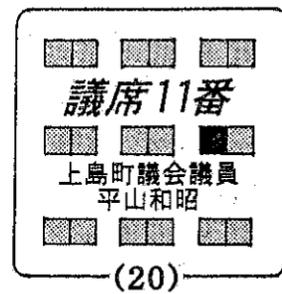
希代の色好み、元良(もとよし)親王が詠んだ激しい恋の、それも不倫の歌。
不倫されている側には知らない権利があり、周りは放つとく義務がある。している側には、女とみると放つとけん義務感があるのか?
放つとく義務とは、余計な口出しをしないという温かい心。けどねえ、広く大きな胸も、貝の如く固い口を持ち合わせてなく、つい口出してしまふ。他人のプライバシーを詮索しないのが美しい女の品格、と誰かが書いているけど、そうはいかん!
「即離婚ね!法改正で年金の半分もらえらるし、あんたは悪くないのだから」と耳をふさぐ妻にあれこれ吹き込んでいく。と、三百日戦争、離婚後三百日以内に産まれた子は前夫の子とする、というあれが話題騒然となつてきた。
異議申し立てに出向いた役所で「身から出たさびですよ」と冷たく言われ...と音声を変えられた母親がテレビの向こうで言う。
そりゃそつだ。一枚の紙切れの始末もせんうちに夫じゃない男の子を宿すとは、それつて不倫じゃないの!と熱くなつていたら、こんどは宙に浮いた年金?緑機構の談合?つぎつぎ出るわ出るわ。
税金で運営される大学を出て官僚に代議士になつたセンセイ方に、また税金をうまいこともつていられる。そのくせ選挙ともなればセンセイセンセイと握手を求めにくく私たちつて、相当にオバカさん?
これつて不倫よりわるいよ。知らん権利だと放つておく義務。あなたならどうする?

弓削通信

第116号

発行者：平山和昭
〒794-2509
愛媛県越智郡上島町
弓削土生318-2
TEL・FAX 0897-77-3072

6月定例議会 6月25日(月)



ぎょうさんの傍聴者が！

平成十九年上島町六月定例議会では、弓削中学校三年生の授業の一環として約一時間の議会傍聴がありました。他にも婦人会や一般の人々が訪れ、滅多に無い盛況でした。議会の傍聴は面白おかしいものではないでしょうが、質疑応答を注意深く聞けば善きにつけ悪しきにつけ、重要なメッセージが聞き取れます。

道具があっても使えない？

また議会の傍聴は、一般質問だけが華ではなく、その後の議案審議のやりとりも重要です。そういう意味ではテレビの中継が大事なのですが、いつまでも一般質問のみの録画中継です。

理由のひとつに弓削・魚島以外にCATV(ケーブルテレビ)が整備されていないことがあげられます。実況中継も弓削だけでやるのは不公平、という理屈です。

メディア(手段)を持っていないながら有効に活用できないのは、当事者がその値打ちを十分理解していないからです。当事者というのは、テレビ局、行政、そして視聴者のことで、CATVには殆ど無関心です。持つ地域から持たぬ地域へその魅力を発信しなければこの状態は解消できません。

決断しない主義の町長？

創立来十年、試行錯誤しながら努力を続けて来た(弓削、魚島)CATVを、これからも持ちつづけるとかどうか。理事者(町長)はいまだに決断できません。

議会の傍聴で知ろう「町の現状」

放送内容に視聴者が満足していない現実(言い替えれば年間七千万円を超える維持費に町民の共感を得られなくなりつつあると、四島が合併してひとつの町になったから均等なサービスを提供をせねば)つまりさらなる経費が必要となり、進むもカネ、退くもカネ。この強迫観念に心が揺れているからでしょうか？

地上波デジタル化の期限が刻々と迫り、先行きのほつきりしないCATVのあり方には、加入者も欲求不満をつのらせています。

町の借金 お医者さん 進取の気性

法定議員数と小選挙区
老人ホーム
ケーブルテレビ
県立果樹試験場

旧町村時代のツケ？

現在のCATVは、弓削町、魚島村時代の理事者の先見性と努力で整備したものです。いくら先見性があっても技術革新で時代遅れの代物にもなり得る。CATVを持ちつづけるか手放すか、ともにかくにも最初の決断がなければ次のステップが踏み出せるわけがない。

何百年も独立した行政をやってきたそれぞれの島の、文化、住民気質を勘案すれば、一朝一夕に均一な行政サービスを提供するほうが野暮というものです。それなのに最も基本的な決断を下せない行政トップを持つ町の不幸は、これからもいろんな場面であらわれてくるでしょう。

何のための行政、議会？

はなしが前後しますが六月議会の一般質問には八名が立ちました。議席十一番平山は「行政職員としての医師確保を目指したかどうか」という質問をしました。

以前にも同趣旨の質問をしました。今回は、本年の愛媛県六月議会で「ドクターバンク

制度」を立ち上げるための補正予算が組まれたことを受け、県内に蔓延し始めた医師不足に県も本気で取り組もうとし始めた矢先、わが町も将来に備え、あらためてそういう制度も活用した医師の確保を図るべきではないか、という質問です。

町長は、「旧弓削町時代に議会宛に出された(議会は町営診療所開設にむけて働いて欲しいという)請願書が不採択になった経緯があり、かつ救急医療システムの充実に取り組んでいるので町自らが医師確保に動く状況に無い」担当課長は、「上島町は今後の国や県の医師不足に対する施策に期待したい」と述べました。

これで町の未来は大丈夫？

「これで町の未来は大丈夫？」
トップにやる気が無ければ

部下はそれに合わせるしかありません。この行政は誰かが敷いたレール、つまり旧町村時代に決まっていた施策とか、国や県が敷いてくれたレールに乗って漂っていくのみで、新しいことに挑戦する意気込みも勇気も、したがって将来への展望もない。果たしてそういう町が町外者には安心して住める町と映り、Uターン、Iターン、若者の定住などが期待できるのでしょうか？

同様に生名地区にある特養「海光園」の新築計画も、結局は県・国からの補助のあてが無く、頓挫したままです。時間も経過しています。いまとなれば自力での新築は無理なのに方向転換する決断も下せない。軸足を踏み替える決断をすれば新しい方向を見いだせるかもしれないのです。

皆で傍聴して話題交換！

以上くどくどと書いたようなことが審議の傍聴でわかってくるのです。

地味で退屈かもしれませんが、交代で議会傍聴をし、その話題を持ち寄り、意見交換会を催せば、相当楽しいのではないのでしょうか。

【付けたら①】……………
この定例会では、WTOおよびEPA交渉に関する意見書、つまり、衆参議長、総理、農水大臣あてに、国内農業を保護するため輸入農産物に対する関税を撤廃しないよう求める意見書を二本採択しました。

「核兵器全面禁止・核廃絶国際条約締結を求める意見書」を国に提出するよう求める請願書、および「消費税の増税計画に反対する意見書」を国に提出するよう求める請願書を、それぞれ不採択としました。

不採択の請願書は共産党議員が紹介議員ではありませんが、共産党であれ、自民党であれ、住民の生活を願うのは同じはず。しかしながら上島町議会と理事者は、町民のそういう願いには耳を貸す気はないと明確に意思表示をしました。

かつて「町営診療所が実現できるように働く気は無い」と表明した旧弓削町議会の血流は海を越え他地区の議員の身中にも流れていたことが明らかになったわけでは

【付けたら②】……………
六月、上島町議会の議員削減と選挙区を一にするように求める要望書が、弓削区長会と地区長会から、議会と理事者あてに提出されました。

同じ趣旨の要望書が、生名地区住民有志から理事者に提出されました。

議会議員としての筆者は、町民の議員に対するこの非常に厳しいまなざしに、議会をあげて誠実に応えなければならぬと考えます。

講演会のお知らせ(入場フリー)

(多くの方々の来場をお待ちします)

「高専の統合・再編、弓削を取り巻く周辺の動き」

講師 多田光男氏
(弓削商船高専職員組合委員長・商船学科教授)

日時 平成19年7月21日(土)14時10分～

場所 弓削島 せとうち交流館 体験交流室

主宰 「弓削商船高専を上島町に存続させる会」

事務局 ☎ 089774-0807 濱田

弓削小学校の 恩師来島!

弓削通信九五号で小学校時代の恩師からの手紙を紹介した。それには、北京からウランバートル(モンゴル)までのフリーにホンダのカブで挑戦する若者のニュースを読んで、俺も「しまなみ海道」をやってみようと思っっている、とあった。

師は筆者よりおよそ一回は年長だからそろそろ喜寿である。師も奥様も、教職を離れても福祉の仕事は続けられて、最近その多くから解放されたという。やっとな年越しの夢?を実現するべくこのたびの壮挙とは相なったのであろう。

松山市内から弓削島まで、「しまなみ海道」開通後の現在なら、車で一走りかもしれないが、奥方と小排気量のバイクで、となれば小さからぬキックオフの気持ちが必要だったにちがいない。

師は昭和三十年に弓削小学校を卒業した我らの、五、六年生の担任だった。一年は三クラスあり、我ら梅組は総勢四十五名であった。

以下は思い出話である。
われらの小学生時代は、現代から見ればまさに自由の天国。教師も自由に自分のスタイルの授業が実践できた時代だったのではないかと思う。子ども達の友人関係も、クラス、学年を超えて広く、秀才も、筆者のような鈍才も、それぞれの取り柄を互いに認めあう伸びやかな幼少年期を過ごせたように思う。
師が弓削小学校時代に携わった障害児教育はこの地のそのの嚆矢であり、師のライフワークを決定的につけるもので

しまなみ海道 松山 ← 弓削島 バイク・バイク



あった。その後多くの子ども達が彼の薫陶に浴したであろうことは、学業成績では「丙」の字しか知らぬ筆者ですら、教え子の一人として、師が誇らしい。
師のことは以前にも弓削通信で取り上げたことがある。筆者の中でその出来事の印象が強かったからである。
「弓削通信6号」の「古いもの新しいもの」というコラムに、弓削小学校の作詞・作曲者、本居長世と、かつて弓削小学校にあつたドイツ製グランドピアノにまつわる話を紹介した。その中に「ピアノが身近にあつたので」一人で修練に励み(奏法を)モノにした教師を



【写真説明】 いまから50年あまり前、商船学校のコンクリート製帆船船尾丸の船尾楼甲板にて。中央が恩師小西先生。これで1クラス。先生所持のカメラでカメラマンは校長先生?。先生は学校の宿直室で現像焼き増しして皆んなにくれた。「今は昔」の思い出深い記念写真。

知っている、とある。その教師が実は彼なのであつた。
このいきさつもよく覚えている。
われらの担任になつたときの彼は、ピアノが不得手であつた(らしい)。通常そのような場合には、音楽の授業は別の教師に依頼していたようである。ところが彼は、クラスの者にどう相談したのだらう。
「わしはピアノが下手じゃ。だから音楽の時間は〇〇先生に替わってもらおうかと考えるが、もし、自分下手でも我慢してくれるのなら、これから一所懸命練習し、自分で音楽の時間をやりたいと思う。どうだ?」

われらは担任が音楽も教えてくれるのを望んだ。実は彼が好きだつたからというよりも、代わりの先生がコワイ人だつたらイヤだからで、すくなくとも筆者はそれが動機だつたように記憶する。
むかしは色々コワイ名物先生がどこにも居たのだ。
さて、彼が毎日どれほどの時間を修練に費やしたのかは知る由もないが、とにかく昼休み、放課後、ひたすらピアノに向かつている姿を、相当しばしば目撃した。

彼は雨天で体育の授業が出来ないときなどに朗読もよくしてくれた。印象に残っているのが、「シキル博士とハイド氏」「山椒大夫」である。「二重人格」ということを知り、「あわれ」ということを知つた。
ともあれ無事の弓削到着を祝し、急ぎしらすのささやかな歓迎会を催した。その席で師夫妻に、不肖の弟子から面映く、僭越ではあるが、「よくやりましたの賞」という賞状を差し上げた。
師の名は、小西一省(現・荒井)さんという。

わとりパン

中田ちづき (13)

単純に「子育て支援」っていつても、いろんな家庭環境いろんな親、いろんな子がいるので、それぞれに「必要な支援」ってのはちがつてくる。「おむつはどこが安い?」って情報からはじまり、簡単な離乳食の作り方や汗疹の予防、かかりつけ医の評判だの……
わが子の成長につれ、共通の話題も提供できる情報も変わっていく、今は「お母さんの就職」問題にまできている。

先日は「子育て講座」で「働く? 働き続ける?」ってことで集まりがあつた。集まつた人は大別すると、働いている人、働こうとしている人、働きながらの苦労話とか、働こうとするときの壁ということでは、女性には何よりも「子ども」が「障害」になつている。母親が「働く」うえで「子どもが障害」だなんて



何と言う社会なのなのだろう。法的整備が不十分なだけじゃなく、施設環境、社会的認識環境、母親の精神的な面にしてもまだまだ、そして、格差がありすぎる。「してやっつて」という押しつけがましい支援はいらない。子育て中でも障りなく社会に入っていけること。働くことで子どもが歪を受けないこと。これだけなんだけどね。

開館10周年記念 幻想の翼を広げて-
ポーシャン展
2007年7月11日(水)~9月2日(日)
●フランス生まれのアンドレ・ボウシャンは、素朴派のシンボリック的存在。植木職人として暮らし、40才を過ぎてから絵筆をにぎった。ピカソ、シャニツク、カンディスキー等が絶賛している。
一般800円・学生500円
9:00~17:30(入場は17:00まで)
月曜日休館(祝日の場合は翌火曜日)

なかた美術館
広島県尾道市潮見町6番11号 TEL.0848-20-1218

第13回尾道に映画館をつくる会上映会
砂の器
【デジタルリマスター版】
監督:野村芳太郎
日時 2007年8月5日(日)
会場 テアトロシェルネ
【上映時間】①10:30~13:00 入場無料
(休演14分) ②13:30~16:00 全席自由
【料金】観覧券1,000円 前売券1,500円
問い合わせ 090-8061-8589(中田)
〒722-0014 広島県尾道市新浜1-9-31
TEL 070-5522-4958

上島おもしろ交流クラブ
ご案内: 毎月第3水曜日、上島町新消防庁舎2階にて。午後7時~9時
話題提供、意見交換、ミニ講演会、要望あればIT器機体験・講習などにも対応。
★7月は18日です。

昔は「少子化」になつたらかなり楽になる分野だと思つてたけど、少子化だからこそ、なんか複雑に、難しくなつている。
人それぞれレベルや限界も様々だけど、一部の人だけが活躍しても先導しても仕方が無い。もともと女性性は、(母親は)自覚も勉強も努力もして底上げが必要。そ、一人一人。私も、あなたも。

弓削通信

第117号

発行者：平山和昭
〒794-2509
愛媛県越智郡上島町
弓削土生318-2
TEL・FAX 0897-77-3072

◎「人生意気に感ず」

自分の中に在る行動規範は人それぞれでしょう。生い立ち、住んでいる環境、そしておつきあひした様々な個性からつけ加えられたり取り払われたりして、終世変わらぬ、あるいは時としてかわる行動規範が、人には宿ります。

筆者に人様に誇れるような行動規範があると言うのでは無いですが、ほぼ悪癖に近い形で「意気に感じ」やすいモノがあるの否めません。

「人生意気、功名誰復論」

「ご承知のように唐の政治家魏徴(ぎちよう)の述懐詩で、「人は人の意気に感じて行動する。金や名譽は問題外」というような意味。述懐を真似れば、筆者も、人様から見れば、なんとずいぶんアホなことを繰り返していることではしよつか!

魏徴は天子を直に諫める役に任命された苦勞人で、生涯に天子を二百回以上も諫めたそうです。天寿を全うしたからには、当人も天子も大物だったということになるでしょう。(何度も耳に痛いことを言う家来は終いには消されるのが普通ですから)

筆者の「意気に感じる」行動規範は、スケールがうんと小さいので古の偉丈夫に比ぶべくもありませんが、とにかく無鉄砲な試み、衆寡

市民が立ち上げた戦没者慰霊祭 (7月28日、尾道市因島)



7月28日は終戦直前、因島が二度目の空襲を受け多くの犠牲者が出た日です。記録に残るよりも多くの犠牲者があったのではないかと因島「せとうちタイムズ」記者、青木忠さんはそう考え、独自の調査をした結果、少なくとも100人をはるかにこえる死者が出たことが判明。

しかし多くの犠牲者が出たにもかかわらずこの63年間、公的機関による慰霊の営みが行われなままでした。青木さんは自らが実行委員長となり市民有志の慰霊祭を立ちあげ、去る7月28日「因島空襲犠牲者慰霊祭」を尾道市営駐車場(因島土生港)にて挙行了しました。

尾道市長、議会議長、地域選出県議も列席し、二度とこういう犠牲者を出さない、この事件を風化させないようつとめるとの誓願をし、多くの一般市民と共に献花をしました。

写真は挨拶を述べる青木実行委員長。

JR尾道駅前にある「尾道松竹」館を 新たな尾道の映画館として再建します。

か割の合わない弓削からの参観者がいつも何名かいるのはとても希望的です。映画監督大林宣彦氏の出身地尾道は「映画の町」と呼ばれるのに映画館が一軒も無いのは変じゃないか?というのが活動の発端だったと聞きます。それを聞いて、そうだなあと共感するだけならどこにでもある話。尾道の若者は違った。「じゃ作ろう、再建しようじゃないか」となった。

三十代の若い連中(昨今で

「シネマ尾道」

敵せずでも立ち向かう、そのような人々には思わず力を貸したくなる。もちろん甲斐性あつてのことではないので、往々にして「心」ばかりという仕儀に相成るのですが...

◎夢を実現する人々

尾道に、「映画館を再建しよう」という運動があることはこれまでにも紹介しました。彼女、彼たちの活動「上映会」も努めて紹介し、そうした中、費用対効果ではなかなか

二〇〇八年四月まで 「映画の町」尾道に 「手づくり映画館」が 誕生します!

その会は、若者達の自主性と行動力、そして「意気に感じる」人たちの運動への参画、なにより「映画が好き」という共通のエネルギーで支えられていくようです。今年はずでに5回の上映会と1回の映画講座を開催し、そしてこの七月、ついに待望の映画館再建にむけての確かな二歩目が、つまり、映画館再建地が決定したのです。

JR尾道駅前にある旧「尾道松竹」館(〇一年閉館)がその場所です。そこを借り受け、再建費用にあてるため二千万円の基金を設立し、それをいままでの活動資金と、一口一万円からの募金でまかなうのだという。

肝心の映画館を何処にもつてくるかが懸案でした。安易ではなかったでしょうが「つくる会」のメンバーは、目標達成のための行動日程を定め、

「尾道シネマ基金」について
 募集期間 平成19年8月1日～平成20年3月31日
 募金方法については下記「専用お問い合わせ先」をご利用ください。「寄付申し込み書」は弓削通信にてもご用意できます。
 ☎ 090-8061-8589(担当:半田)
 Eメール kikin_cineonomichi@yahoo.co.jp

着実に山を乗り越えてきました。どしゃぶりの議会の小田原評定とは大違いですね。

◎ドラマは次々産まれる

奇しくもこの旧映画館は、上島町佐島にゆかりのある尾道市在住の織田恭一画伯の所有にあり、織田画伯と弓削、佐島との縁から、再建映画館は、私たちにとても新たな意味をもつことになるでしょう。

夢物語に近かった事業を成功に導く過程にあつてはドラマが産まれ、「つくる会」の人たち夫々が、新たなビジネス手法を体得し、錬磨し、行き着くところ、彼らの力で尾道の活性化も果たせるでしょう。そのことが一番の大事です。応援したいという気持ちを抑えることができません。

◎「弓削通信」も一灯を

そこで、というのも何ですが誠に勝手ながら、9月の弓削通信は「おやすみ」とし、貧者の一灯でしかありませんが発行費用一回分を「尾道シネマ基金」に応募することとしました。出来れば、近隣尾道で展開されているこの運動に、読者の皆さんも「意気に感じ」参加されることを心より願うものです。ではみなさん、元気で夏を乗り越えましょう!

図書館夏まつり

日時:8月20日(日)午後2時から

場所:芸予文化情報センター 多目的ホール

◎演劇「ほくたちの八月」

壺心劇団マンボウ上演

◎児童用雑誌リサイクル市:保存期限の過ぎた児童用雑誌をリサイクルします。一人2冊まで自由に持ち帰れます。

「おもしろ交流クラブ」

今月の例会は8月22日に変更させていただきます。

場所:上島町消防庁舎二階

時間:午後7時～9時

連絡先:77-2760 (竹林清志)

77-2569 (前田典子)



9月定例議会

26日(水)・27日(木)

議席11番
上島町議会議員
平山和昭

(21)

まかり通るぞ数が居る

平成一九年九月定例議会の目玉は、なんといつても次回選挙から議員定数が減らされるのか、選挙区はどうなるのか、というところだ。

結果を先に述べる。

議員発議で、定数四人削減、二選挙区制の案と、定数も選挙区も現状のまま、という二件の議案が提出され、現状維持派(積善会)の出した案が賛成多数で可決された。

【議案内容比較表】参照

改革の名が泣く

田窪議長は「強い意志で議会改革をやる」と公約し、二年と申し合わされていた議長職に再立候補し当選した。支持者は多数派「積善会」だった。氏はその後も多数派とおつきあい蜜のようだ。誰がどういふ会に属そうと自由とはいえず、議長という立場ともなれば、公平を保つためにも然るべき身の処し方があるというもの。議長は積善会のお仲間なのかな?

結果を見れば、

「改革」の名が泣く。

法令遵守が根幹

自治体にとつての法律である条例は、国法に反しない範囲で自治体で自主的に定めよ、というのが「地方分権一括法」の本旨だ。

今般可決された発議5号「上島町議会の議員の選挙区の設定及び各選挙区において選挙すべき議員の定数に関する条例」(現行条例と同名、同内容)は、法に叶っているかどうかの点で、ひとつの大きな問題を抱え込むことになった。

何が問題なのか

定数を法定数一八人とすることも、町内を四選挙

【参考・議員発議議案の内容比較表】

	可決された議案	否決された議案
議員定数	18人	14人
選挙区(議員配分)	4選挙区 (魚島区・定数2) (弓削区・定数7) (生名区・定数4) (岩城区・定数5)	2選挙区 第1選挙区(魚島区) 定数1 第2選挙区(弓削、生名、岩城区) 定数13
提案者	原博彦(岩城)	土居計彦(弓削)
賛成者	新川(岩城) 松浦(岩城) 池本(生名) 原山(生名) 松原(魚島) 大西(魚島) 村上(弓削) 岡島(弓削)	森本(岩城) 濱田(生名) 平山(弓削) 竹林(弓削) 前田(弓削)
有効期間	4年の時限立法	4年の時限立法
所属	積善会(合同調者)	

選挙区そのまま・議員定数そのまま

区にすることも国法で担保された地方自治体の合理的裁量権の範囲だが、選挙区を設けた場合、各選挙区に割り振る議員定数は「人口比例で定める」と「これ」である。(公職選挙法15条)。

今度可決された新条例は、町内に四つの選挙区を設けているわけだから、定数削減をしないのなら、各選挙区の議員は、人口比例で魚島一、弓削八、生名四、岩城五、とせねばならぬ。それが魚島二、とする案で可決された。これが問題だ。

議席は選挙で勝ち取れ

魚島に議員一人ではかわいそうとか、たいへんだからとかの理由は条例を定める上で戒めるべき情緒的動機だ。

仮に一人でかわいそう、たいへんなら、頑張る一人を皆で応援し、協力しあえばすむはなしだ。

さて、法の原則に反するかたちで得た魚島二名枠。魚島の人々の誇りを満足させるのだろうか。

議員のモラルとは

もう一つ恥ずかしい積善会の振る舞いがあった。これはスキャンダルだ。

同日は四件の「固定資産評価審査委員会委員」の選

任(再任)と、二件の「教育委員会委員の任命」案が上程された。

「固定資産評価委員会委員」は、町長が地域事情を考慮し、各地区から一名づつを提案、議会の同意を求めて来た。ところが弓削地区の濱村隆氏だけを、積善会の議員全員が反対し、議会での承認が成らなかつた。

なぜ積善会から九人の議員だけが濱村氏一人だけを狙い撃ちしたのか。

「会の話し合いの中で氏を認められないな、という意見は出ていた」と、積善会の一人の議員は筆者に語ったが、その理由は語らない。

筆者は議会事務局長にその噂の存在を伝えたが、議長は会議の冒頭で公正な判断をするように、というような注意もしなかつた。

議会の品位と権威のためにも、自分がこの件に無関係なら、何らかのアクションが出来たはずだ。

恥べき意趣返し

積善会らが濱村氏の選任に同意しなかつた理由はただひとつだろう。

氏が「上島町の将来を考へる会」会長であり、過日、議会改革について議員全員に送付した公開質問状に対し、それを無視し回答しなかつた者一〇名の氏名も、質問状での通告どおり全町に公開したからに他なるまい。その一〇名とは議長、積善会、その同調者、積善会の仕打ちはとも下品で幼稚な、職権濫用以外の何物でもないだろう。

だれが責任をとるのか

かくてこの議長のもと、上島町議会は「改革」どころが大迷走に突入してしまつた。議員削減を望む民意を屁ともせず、一路「恥ずかし街道」をゆく。

国政の場でこの夏の参院選挙は、政権与党が大敗北した。事の是非は歴史が決めるが、民意を表すとはどういふ事だろう。



中田ちぐさ

よく「授乳教室」だの「離乳食教室」だのという母親のための教室つてのはある。

松山市も、「はじめてのママの教室」だけでなく、「ママとパパの教室」と題して夫婦参加が原則のものもある。これがなかなか人気のようで、まあ「子育て講座」つてのとは、また違った意味なのだと思はれてくるが……。

母子カプセルつても、都会だけじゃなく、身近にある。若いお母さん(若くなくともいいけど)が、子ども一人つきりで家にもつていて、とつともなく発狂するらしい。子どもにどう接していいのかわからないのか、どうあやしいのか、どこまでかまうていいのかわからないのか。赤ちゃんに二十四時間ふりまわされ生活できない……。

母子カプセル



よして……
母親としての「教わり」が必要で、あれこれ「教室」も展開しているのだ。

そりゃね……兄弟の数が少ないし、核家族化してるし、親戚づきあいどころか、近所づきあいもなければ、そこそこの年齢から「小さな子」との接点は無いに等しい。

自分が子どもを生んで、いきなり接点だらけたりするケースも多いだろう。それがいいとも悪いとも言いがたいが、なんだかね……。

これから、そんな「親」に育てられていく子が十年後、二十年後にどんな子らになつていき、世の中は更に、どんなふうに変わっていくんだろう……。

「古典文学を読む会」
弓削中央公民館の「古典文学を読む会」は、一般には珍しい「宇津保物語」にはじまり「狭衣物語」を終了。今回は「紫式部日記」の講読です。弓削商船高専在職専門家による得難い講座。
千年むかしの旅をご一緒しませんか。
11月6日開講。毎月第1・3火曜日 pm7~9時。申し込み期限10月26日
問い合わせ弓削中央公民館 (77) 2128

弓削通信

第119号

発行者：平山和昭
〒794-2509
愛媛県越智郡上島町
弓削土生318-2
TEL・FAX 0897-77-3072

始まるか高専の再編・統合

『高専「脱皮」へ再編』という記事が朝日新聞一〇月二九日に掲載された。

要旨は、仙台電波工業と宮城工業、富山商船と富山工業、高松工業と詫間電波、熊本電波工業と八代工業、各高専がそれぞれ統合され、キャンパスは残しつつ学科など組織を再編、二〇一〇年四月から新校としてスタートする。

志願者減と設備老朽化、産業界のニーズ変化が背景にあるとし、まずは県内に複数ある学校を統合し、新しい社会のニーズに対応できる高専に脱皮させるモデルにしたと国立高専機構の理事は語っているという。

この動きは、平成一八年六月、高専機構の「今後の高専の在り方検討小委員会」の出した中間報告の趣旨に沿って早々と準備に着手し、先行していた学校が実施段階に入るということで、当然、瀬戸内にある3商船高専の統合再編にむけての露払いにもなる観は否めないところだ。

思うだけでは不十分

現在高専は専攻科2年(学士)を設け、質的には単科(技術)大学へと発展した。上島町弓削の地に商船高専があることの意義を、小さいと思う町民はおそらくないだろう。しかしどうひいき目にみても高専を取り巻く社会環境は厳しい。学校が旧態のまま存続し続けることは困難であることは容易に想像できる。

時代の流れにまかせ、なるようになるでよしとするなら、それはそれで一つの選択肢ではあるが、少しでも将来と(そして過去に)に対し責任を果たそうと思うなら、学校も町民(地域)も一枚岩となる努力を惜しんではなるまい。学問の分野、経営の分野に

学校の若い頭脳

知的資源は

我が町に

欠くことができない

一町民として力を及ぼすことなど出来ぬかもしれぬが、たとえばサッカーのサポートのように「応援、声援はできる。それも「陰ながら」、「心の中で」などでなく「目に見えるかたち」で。

技術振興会サポート

一例を挙げれば「弓削商船高専技術振興会(通称しまなみテクノパートナーズ)」という組織が昨年設立された。簡単にいえば学校の持つ知的資源(研究、人材など)を地域貢献に活かすという事で「機構」の中期計画の中で「国立高等専門学校」の持つ知的資源を活用して、地域を中心とする産業界や地方公共団体との共同研究、受託研究への取り組みを促進するとともに、これらの成果を公表する。「とされていることを成就する取り組みであろう。

この組織が今後どのような成果をあげるかは未知数だが、弓削商船高専がこの地で長く活躍できるかどうかは、振興会を構成する会員、殊に法人会員の支えによるところがきわめて大であることは確かかなことだろう。その逆では



【写真説明】11月3～4日に開催された「弓削商船祭」にて父兄といっしょにモチつきをする学生たち

ないことを自覚すれば、学校は、もつともっと積極的に振興会の活動、宣伝を加速させねばならないし、町民有志は個人会員としてでも参加し、サポーターとして学校に

「しまなみテクノパートナーズ」が設立されています。

(弓削商船高専技術振興会)

対する関心を絶やしてはなるまい。

ちなみに現在振興会会員数は、近隣市町にある主たる海運、造船、建築、金融関連企業等四五社の年会費三万円上の法人会員、商工会など年会費無料の特別会員六組織、年会費一口五、〇〇〇円上の個人会員は、同窓会二五名(うち弓削関係1名)、教員五〇名、そして純然たる一般町民の個人会員は五名(うち弓削関係3名)。(一〇月二六日現在)

弓削の町民に関して言えば、これではとても町ごとで応援している姿には映らない。

学校とは運命共同体だ

企業にとって三万円の年会費が、個人にとって五千円のそれが高いか安いかは学校の姿勢ともあいまって個々に判断される事柄ではあるが、近い将来、かりに瀬戸内3商船高専の間でいろんな綱引きが演じられた場合、この一般個人会員の数は、この町の人々の「学校に対する思い」を

推し量られる「目に見える表現」であるとはいえずよう。

一月三、四日に開催された恒例の商船祭では、地域産業界むけ、学校で行われている研究や開発のパネル展示があり、驚くほど多様で高度な研究が行われていたのだと改めて知った。

印象深かったのは、学生の働く意識教育と職業能力教育を同時進行させ、結果的に進路にこの例では海事技術者(つなげるという「海事技術者のキャリア育成プログラム」というのがあり、商船高専らしい視点だと思った。

これは実は見事に現代日本社会の問題点をついていて、もしこの学校がこういう方面で海事教育学校として特化され、質的に変容すれば、将来は大変明るくなると思うからだ。

実業の現場と学校とで、どちらが技術的に先行しているのかは、筆者には計り知れないが、進歩の種はどこにころがっているかしれぬと考えれば、やはりこの学校の若い頭脳は、我が町の存続にとっても欠くことの出来ないものである。はなからうかと感じたところである。

同じく三日は弓削中学校の文化祭だった。そこで見た生徒たちの未来のためにも、この町が大学のある町でありつつねばと、切に思う。

オトナはもつと表現を

また去る一〇月、岡山県で開催された「全国高専プログラミングコンテスト」で弓削商船高専の2チームが最優秀の文科大臣賞を受賞した。新聞や上島町CATVなどでも報道されたが、これなども町庁舎の玄関とか港に垂れ幕をかかげて讃えるぐらいの励ましがあつていい。

しばしば町立中学校出身者が、団体や国体に出れば垂れ幕でのアピールがあることを思えば、思いをカタチにしないことで行政の学校に対する熱意が計られることにもなる。

オトナはもつと自由に、伸びやかに表現をしたいものだ。

大学のある町づくりを
目に見えるかたちで応援しませんか!

弓削通信

第120号

発行者：平山和昭
〒794-2509
愛媛県越智郡上島町
弓削土生318-2
TEL・FAX 0897-77-3072



★平成十九年も師走。詮ないこととは知りながらあれこれ思う。

モノがあふれ豊かだとされる時代に生きながら、庶民の生きにくさは大方の実感ではなからうか。富める者は富むが故に、貧する者はそれゆえの、苦ばかりではなく当然のこととして楽もあるのに、人の耳目はちやもすると苦の現象へと向いてしまう。

なぜ生きにくいのか

私たちが今呼吸している社会が生きにくいとは書いたが、その生きにくさは、もしかしたら時代と共に流れてゆけない「つかえ感」から生れてきているのではないかと思ったりもする。



「科学技術の進歩」と言う。ケータイ、パソコン、テレビなど身近な小道具一つ一つでもあれよあれよというまに進化し、そうした新小道具はたちまち世界中に行き渡る。

何百、何千億円という技術開発に投資された金は、何億人かで割り勘すればすぐ取り戻せるぞという、斯界のリーダーたちの感覚は、全く現実的なのだと思われる。

一方で、何億年もかかるはずの地球環境の変化が、ただか数年の、一人の人間の寿命の間に体感できる早さで変わっているようだ。多くの人の感性がいついていけば無理からぬところがある。

共有、共感、協働を

言うまでもないが人個々にあつては、植え付けられた常識、考え方などの蓄積を簡単にには変えられない。それでよい場合もあれば困った事態になる場合もある。ことに公の事に携わる者、たとえば行政の長、議会人、公務員などは、常に自分の知識や感性を磨いていなければ、時代の先端を走っているつもりがしらぬまに牛尾となつていく。本年末は町行政トップと行政スタッフにより、新町に

町島ふどまどミズネズみずらシ

なつて3度目の地区懇談会が町内各地区にくりひろげられている。町民はその舞台で行政トップのモノの考え方を目の当たりにできる。町の舵取りが時代に即した共有、共感、協働の感性を十分磨いているかどうかも知れる。

「地区懇」に見るトップ

具体的な事例を紹介しよう。筆者の居住する地域での懇談会では介護サービスの話が出た。国の基準が変わり、今までの介護認定がランクダウンされた利用者はどう救済するか。今後を見据え、まずは行政主導で新しいサービスモデルを模索したらどうかとの問題提起だった。副町長は国の決めたことに忠実に従っているで問題ないと強調し、町長は、介護は本来、家庭でやるのが理想で、家庭でできないければ地域で、というのが在り方だと言う。

副町長は長年公務員であったためか公僕意識がうすく町長は、そもそもなぜ介護保険制度が生まれたかの、よってきたる由来すら慮外の外にあるように見受けられる。

世の風潮が家庭での介護を實行できる状態なら、そもそも介護保険なんか創設の必要もなかったし、国の制度を忠実に守るだけが役所の仕事なら、行政トップは不要で、職員だけでも仕事は進む。

妙な勘違い

自分たちが預かる地域社会、地域住民の不安や不便をなんとかして解消できないものかと智慧を絞る気もないと見える者を、われらはなんとおおらかに高給で遇しているのだろう。もちろんこれだけの処遇が出来るのは財政が健全(町長自讃)だからこそその技であるにちがいない。

ちなみに本年度町当初予算は総計約115億円(一般会計約65億円、特別会計約50億円)で、未返済地方債は142億円、毎年14億円の返済をしつつ今後の大型事業計画を考慮すれば、平成28年度末で99億円の残、と見込んでいる。(地区懇配付資料)

少子・高齢化で人口減が進む中、町税収入は6億円余。国・県からの借入れや交付金がなければ自由に使える金がどれほどあるのかしら...

借金のおかげで上下水道、住宅、公共施設など様々な事業ができ、今の快適な暮らしがある。地方債残高だけで財政判断をするべきではないが、自前の財源がまるで乏しい現実、決して健全とも、

★明けない夜はないというが、明日が晴れとは限らない。山より大きなシシは出ぬというが、シシはびこれば山滅ぶこともある。

同じようにわれらの町もなかなか光明を見い出せない。が、だからといって明日がないわけではない。まずは気を取り直し、さらに頑張るべし。町内各地でインシシの話

心配ないとも言えるものではないから。まずは情報を正しいとらえ方で共有するのが肝要。そのうえであらゆる面で知恵をしぼり出すしかないのは明らかだ。

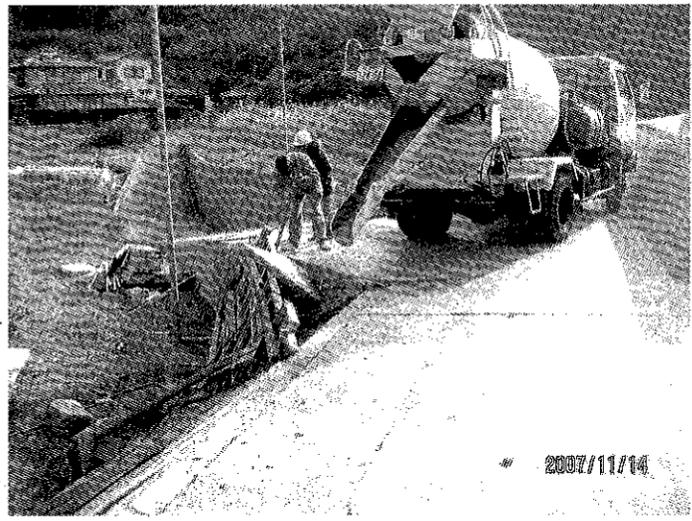
一にも二にも実行力

かつて『ウェブ進化論』(梅田望夫著・ちくま新書)という本を読み感銘深かった。最近その続編『ウェブ時代をゆく』(梅田望夫著・ちくま新書)に接し、一層われらがどんな時代に生きているのかが了解できた。

私たちは望めば世界中のあらゆる情報に瞬時につながることが出来る時代を生きている。あらゆる情報を知識と知恵と言い換えてもいい。しかし重要な事実は、それらは、口を開けて待つていられればひとりでに最適なものが届けられる仕組みにはなっていないこと、知ったからとて活用力、実行力が無ければ尻の突っ張りにもならないということだ。

求める気のない者はもちろんのこと、そう言う手段からは遠くなった人々も、いつにか情報の埒外におかれ、それがまた生きにくさを増幅させる素にもなりうることだ。

にあげられたシシ年も終わる。来年は、まだすてたものではない筈の我らの自立心、自尊心、反骨心を糧に、実動できる年であることを祈りたい。



2007/11/14



2007/11/18

【写真説明】

自分たちの生活環境を自分たちで整備。「上島町ふるさと事業補助金」制度を活用し、不便だった地区町道の進入路を拡幅する弓削鎌田地区の人たち。行政頼みではなかなか実現しないことも地区(自治会)で取り組みれば早く実現できることがある。

●第14回尾道に映画館をつくる会上映会
「天然コケッコー」

日時：2008年1月14日(月・成人の日祝日)
◆10:30~12:35 終了後脚本担当渡辺あやさんの舞台挨拶
◆13:30~15:35 終了後脚本担当渡辺あやトークショー
会場：テアトロ・シエルネ (JR尾道駅前 しまなみ交流館)
料金：前売券1,000.- 当日券1,500.-
チケット販売：啓文社代



原作：くらもちふさこ 脚本：渡辺あや 監督：山下淳弘
音楽：レイ・ハラカミ 主題歌：くるり
出演：夏帆 岡田将生 夏川結衣 佐藤浩市

小中学校合わせても、たった6人の生徒しかない田舎の分校に、東京から転校生の大沢(岡田将生)がやってきた。そよ(夏帆)は、都会の雰囲気漂う大沢に心ときめくが、彼の冷たく乱暴な言動に戸惑いを覚える。しかし、海水浴のできることをきっかけに、そよの大沢に対する印象が変化し始める。くらもちふさこ原作の同名人気少女漫画を、『リンダリンダリンダ』などを手がけた山下敦弘が映画化。脚本は『ジョゼと虎と魚たち』の渡辺あやが担当し、甘酸っぱい初恋や、友人や家族との何気ない日常を、のびやかに描き出す。島根・浜田の四季の移り変わりや人々の心温まる交流に癒される。

問合せ：090-8061-8589 (担当：半田)
主催：尾道に映画館をつくる会 (NPO法人シネマ尾道)
〒722-0014 広島県尾道市新浜1-9-31 (事務局)
TEL：070-5522-4958 FAX：0848-22-7759

テーマは 環境 絆 ふるさと

「五分間ノ尾道物語」映像コンテスト

◎主催：尾道ロータリークラブ、尾道東ロータリークラブ
◎応募・お問い合わせ先
おののちフィルム・コミッション(尾道市庁舎内)
TEL.0848-25-7182 FAX.0848-25-7293

応募方法 DVD VIDEO 5分以内
応募作品 5分以内

応募締切 2008 5.7

尾道をモチーフとした ショートストーリー

30万円 大賞 1作品
10万円 シニア賞 1作品
5万円 優秀賞 3作品

ホームページアドレス
http://www.bbbr.jp/~ohrc/

「上島おもしろ交流クラブ」
毎月第3水曜日・午後7時~9時
12月は19日です。
今月は環境問題のお勉強。
アル・ゴア監修「不都合な真実」のホーム・シアター (DVD 観賞)

★本年度アカデミー賞2部門受賞!!★
★「不都合な真実」★

場所：上島町消防庁舎2階
連絡先：77-2760 (竹林清志)
77-2569 (前田典子)

「通信」を暫時休刊いたします。
読者の皆様のご健勝をお祈りいたします。
(平山和昭)

国際ソロプチミストしまなみ
《認証1周年記念》

釜山十二華
チャリティーコンサート

エーラスダンロス症候群という難病と共に生きているピアニストです。今年の24時間テレビに出演し、スケートの安藤美姫さんと共演しました。

日時：平成20年1月20日(日)
午後1時開場 午後1時30分開演
場所：尾道市因島市民会館 大ホール
入場料：999円
友情出演：ポコアポコ チャイム・ソレーナ

主催 国際ソロプチミストしまなみ (連絡先 0845-22-2169)
後援 尾道市 上島町 因島ロータリークラブ 因島ライオンズクラブ 因島せとうちライオンズクラブ 因島青年会議所

おひらせ

「弓削通信」は平成3年6月創刊以来、様々なことを書いてきました。このミニコミ紙の方向付けは「自分の意見を公開しよう」ということと「問題提起に徹したつもりですが、投稿紙と位置づけられている」

もの、読者にはどれほどの取り柄があったでしょうか。浅学非才が吐く意見です。誤った見解もしばしば発露されたでしょうし、ご迷惑をかけたことにも言わせていただければ、大切なのは「結果として正しい」と

入納まればいい」ということで、もちろん、なにをもって正しいとするかは常に議論的ですが「結果よければ全てよし」のだからかさを持てなくなればどうしたミニコミも存在意義が薄れるでしょう。

合併後のこの町の有様に関して、最近行政面、自治会面にと町民の関心が高まってきたと感じます。いろんな場所で自分の意見を公開する人が増えてきたことと無関係ではないでしょう。

行政(議会も含め)も、住民自治も、要するに「役割分担」。そうしなければやっていけない時代です。当然お互いに色々言いつつあるはず。それを率直に出し合えるテーブルがあり、いい納まりにむけての官民、民民の協働が出来ないようなら、まともな自治体とは言えないのではないのでしょうか。

従来型の、かきつ批判(たとえ正論でも)を言い合っても、姿を見せての(例えば実名で行政のブログに書き込むなど)行動が伴わねば、それは意見者として無責任です。ミニコミ紙を発行してきての偽りない感想です。

さて、その感想を素に、今後にむけリフレッシュするため、誠に勝手ながら、来たる年頭より「通信」を暫時休刊いたします。読者の皆様のご健勝をお祈りいたします。

「あの頃は...」と、世代が少々違つのに話が盛り上がる。たらあやしない。私たちが高田馬場界隈、新宿や銀座、路線図も頭にあり、話についていけないこともなく(唯一、東京には任んたことない人間たちだけ)むしろ妙な歌を聞かされるのが中断されてよかった。

で、「おまもも、大学の歌、歌ってみて言われ...、そんななんあるワケもない。あんまり...」と、独唱で小学校歌と中学校歌をやり、ついでにイタリア語の聖歌を披露。おまももがスペイン語のソングレシアスの「ナタリ」を熱唱してました。

...沈黙...
そして、帰らせていただいたのであります。

たのなんの...! カラオケリストに無ければアカハラで独唱して下さる...! それよりも何よりも、みんなが大学出て大学の歌なんぞが歌えるって事実!

「あの頃は...」と、世代が少々違つのに話が盛り上がる。たらあやしない。私たちが高田馬場界隈、新宿や銀座、路線図も頭にあり、話についていけないこともなく(唯一、東京には任んたことない人間たちだけ)むしろ妙な歌を聞かされるのが中断されてよかった。

で、「おまもも、大学の歌、歌ってみて言われ...、そんななんあるワケもない。あんまり...」と、独唱で小学校歌と中学校歌をやり、ついでにイタリア語の聖歌を披露。おまももがスペイン語のソングレシアスの「ナタリ」を熱唱してました。

...沈黙...
そして、帰らせていただいたのであります。



わじりパン
中田ちぐさ
(15)